

令和3年度 事業報告書



(共生の里荒木)

社会福祉法人 恵伸会

- ・特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
- ・ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里津福
- ・ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム共生の里荒木
- ・ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
- ・ショートステイサービス共生の里津福
- ・ショートステイサービス共生の里荒木
- ・オレンジヒル短期入所生活介護事業所
- ・デイサービスセンター共生の里津福
- ・デイサービスセンター共生の里荒木
- ・ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所
- ・ケアプランセンター共生の里
- ・小規模多機能型居宅介護事業所共生の里荒木
- ・オレンジヒル通所介護事業所
- ・小規模多機能型居宅介護事業所共生の里津福
- ・訪問看護ステーション共生の里
- ・オレンジヒル居宅介護支援事業所
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所共生の里荒木
- ・荒尾市老人介護支援センター

特別養護老人ホームオレンジヒル小岱事業報告

1 総括

コロナ禍が長期化する中、感染防止の為に面会制限、外出の自粛を余儀なくされましたが、「あなたの笑顔を守りたい」「あなたと一緒に笑いたい」という理念を実現するために、室内で出来る多様なレクリエーションを実施し、感染防止対策を講じたうえで、桜の花見外出を行い大変喜んでいただきました。

職員全員で感染防止対策に取り組んだことで、コロナが発生することなく一年を終えることが出来ました。

2 活動実績

- (1) コロナ禍の中、前年度に引き続き面会制限を行って参りました。ほんのひと時ではありましたが、直接面会の機会を設けることが出来、ご本人、ご家族共に安心した笑顔を見ることが出来ました。
- (2) 感染防止対策に努めた結果、コロナ・インフルエンザが発生することなく、嘱託医・看護・介護の連携により、ご利用者の異常の早期発見、体調管理も出来ました。
- (3) ヒヤリハットの提出の職員の意識づけは定着し、前半は事故件数が減少していましたが、後半は事故における改善と対策が生かされていないことがあり、事故件数が増加し、前年度の事故件数を大幅に下回る事は出来ませんでした。
車椅子やベッド等の備品の安全チェックは定期的に行い、皮下出血等のご利用者の身体的変化は経過を記録し、発生状況、原因の把握が出来ました。

特別養護老人ホーム オレンジヒル小岱添付資料(令和3年度)

入居者要介護度状況(3月31日現在)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

介護度		人数	平均介護度	年齢	60歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	合計
要介護	1	0	3.66	性別	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	99歳		
要介護	2	5		男	1	0	3	2	1	0	0	7
要介護	3	18		女	2	1	5	12	15	6	2	43
要介護	4	16		合計	3	1	8	14	16	6	2	50
要介護	5	11										
合計		50										

最高年齢	101	平均年齢	88.7
------	-----	------	------

入居状況(3.4.1～4.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	50	1500	100%
5月	50	1491	96.1%
6月	50	1442	96.1%
7月	50	1516	97.8%
8月	50	1550	100%
9月	50	1499	99.9%
10月	50	1550	100%
11月	50	1480	98.6%
12月	50	1527	98.5%
1月	50	1497	96.6%
2月	49	1352	96.6%
3月	50	1495	96.5%
合計		17,899	
平均稼働率			97.8%

入退居状況(3.4.1～4.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由			
			帰宅	入院	死亡	その他
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	2	2	0	0	2	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	1	1	0	0	1	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	2	3	0	0	3	0
12月	3	2	0	0	2	0
1月	2	3	0	0	3	0
2月	1	1	0	0	1	0
3月	3	2	0	0	1	1
合計	14	14	0	0	13	1

ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱事業報告

1 総括

令和3年度もコロナ禍の下、高齢者施設における感染症対応マニュアルや行政通達等に基づき、感染予防に努めました。ご利用者には外出中止や面会制限等、職員は検温、手指消毒、マスク着用をし、日常生活においても一人ひとりが感染対策に努めました。それにより、ご利用者、職員にコロナ感染はありませんでした。

そうした中でも、ご利用者がその人らしく笑顔で日常生活が送れるように取り組みました。

また、毎月の料理教室の実施、レクリエーションの充実に努めました。桜の季節には密を避けてドライブを実施し、ご利用者の心身のケアにも努めました。眠りスキヤンの活用により、1人ひとりの睡眠の質の向上、危険防止にも努めました。

2 活動実績

(1) 向日葵ユニット

残存機能を活かす試みにより、ご利用者が出来る事の喜びを感じ、生きがいになることで、身体機能を維持することが出来ました。

また、ご利用者に寄り添い意思疎通を図る事で、その人らしく、安らぎと安心を感じられる生活を送る事ができたと思います。

(2) 山茶花ユニット

コロナ禍により個別外出が中止となり、ご利用者には自宅外出、外食、買い物等の楽しみが無い生活になりました。そうした中、施設内の中庭で昼食を取って頂いたり、お花を植えたりして、少しでも季節を感じて頂けるように努めました。

料理教室では、ご利用者の要望を取り入れて計画・実施することにより、楽しく参加して頂き、「美味しい」と笑顔が見られました。

今後もお利用者から信頼されるように良好なコミュニケーションを取りながら、より良い個別ケアを心がけ、楽しい時間を過ごして頂けるように取り組んでいきます。

(3) 明日葉ユニット

コロナ禍により個別外出や面会など充実した行事は出来ませんでしたが、毎日のご利用者との関りで趣味・嗜好をくみ取り、室内での料理教室やレクリエーション等を実施して喜んで頂く事が出来ました。

また、ご利用者との日々の関りの中で変化に気づき、職員間で情報交換・共有を行い、ご利用者一人ひとりに合ったケアが実践出来ました。

令和3年度 ひまわりユニット行事報告

月 日	行 事 内 容	場 所	参 加 者
4月18日	料理教室 (ヨーグルトゼリー)	向日葵ユニット	10人
4月19日	散髪	向日葵ユニット	4人
4月21日	料理教室 (ようかん)	向日葵ユニット	10人
4月28日	ゲーム(ダーツ、魚釣り、卓上テニス)	向日葵ユニット	5人
5月17日	散髪	向日葵ユニット	4人
5月20日	ゲーム (卓上テニス、ダーツ、輪投げ)	向日葵ユニット	3人
6月4日	ゲーム(ダーツ、魚釣り)	向日葵ユニット	4人
6月9日	ゲーム (ダーツ、魚釣り)	向日葵ユニット	4人
6月18日	料理教室 (抹茶小豆ケーキ)	向日葵ユニット	9人
6月21日	散髪	明日葉ユニット	4人
7月16日	料理教室 (冷やしぜんざい)	向日葵ユニット	8人
7月19日	散髪	明日葉ユニット	2人
7月22日	スイカ割り	向日葵ユニット	4人
8月6日	ゲーム (卓上テニス、キャッチボール、ダーツ、)	向日葵ユニット	4人
8月9日	ボール遊び	向日葵ユニット	3人
8月16日	散髪	向日葵ユニット	6人
8月25日	おやつ作り (フルーツパフェ)	向日葵ユニット他	10人
8月27日	フットボール遊び	向日葵ユニット	5人
9月14日	料理教室 (蒸しパン)	向日葵ユニット	10人
9月20日	散髪	向日葵ユニット	5人
9月20日	敬老会	向日葵ユニット	10人
9月24日	キャッチボールゲーム	向日葵ユニット	5人
10月17日	オレンジ笑店 (買い物)	事務所	5人
10月17日	風船バレー	向日葵ユニット	1人
10月18日	散髪	明日葉ユニット	5人
10月19日	料理教室 (カルピスゼリー)	向日葵ユニット	10人
11月10日	料理教室 (だご汁)	向日葵ユニット	10人
11月11日	散髪	明日葉ユニット	4人
12月18日	料理教室 (芋ぜんざい)	向日葵ユニット	10人
12月20日	散髪	明日葉ユニット	4人
12月22日	クリスマス会	向日葵ユニット	10人
1月17日	散髪	明日葉ユニット	4人
1月23日	料理教室 (肉まん)	向日葵ユニット	10人
2月3日	節分 (豆まき)	向日葵ユニット	10人
2月14日	料理教室 (ホットケーキ)	向日葵ユニット	10人
2月17日	料理教室 (餡子ときな粉の和風ヨーグルト)	向日葵ユニット	10人
2月21日	散髪	明日葉ユニット	4人
3月3日	ひな祭り	向日葵ユニット	10人
3月10日	散髪	明日葉ユニット	4人
3月11日	料理教室 (スイートポテト)	向日葵ユニット	10人

令和3年度 山茶花ユニット行事報告

日付	行事内容	場所	参加者
4月7日	個別昼食	山茶花居室	1名
4月19日	散髪	山茶花リビング	2名
4月20日	料理教室（お弁当ランチ）	山茶花リビング	10名
4月26日	個別昼食	山茶花居室	1名
5月17日	散髪	山茶花リビング	4名
5月21日	料理教室（お好み焼）	山茶花リビング	10名
5月25日	個別昼食	山茶花居室	1名
6月2日	個別昼食	山茶花居室	1名
6月21日	散髪	明日葉リビング	4名
6月22日	料理教室（チョコバナナパフェ）	山茶花リビング	10名
6月23日	避難訓練	ユニット玄関	3名
7月19日	散髪	明日葉リビング	4名
7月22日	料理教室（ミルクもち）	山茶花リビング	10名
7月22日	スイカ割り	山茶花リビング	10名
8月16日	散髪	明日葉リビング	4名
8月23日	料理教室（冷しゃぶ・トマトと卵のスープ）	山茶花リビング	10名
9月20日	散髪	明日葉リビング	3名
9月28日	料理教室（パフェ）	山茶花リビング	10名
9月29日	敬老会	山茶花リビング	10名
10月18日	散髪	明日葉リビング	3名
10月20日	料理教室（どら焼き）	山茶花リビング	10名
10月25日	避難訓練	山茶花非常口	3名
10月26日	秋祭り	向日葵・山茶花	10名
11月11日	散髪	明日葉リビング	3名
11月18日	料理教室（スイートポテト）	山茶花リビング	10名
11月26日	散髪	山茶花リビング	1名
12月20日	散髪	明日葉リビング	4名
12月24日	クリスマス会	山茶花リビング	10名
12月24日	料理教室（お好み焼）	山茶花リビング	10名
12月26日	餅つき大会	山茶花リビング	3名

1月17日	散髪	向日葵リビング	4名
1月27日	料理教室（リングドーナツ）	山茶花リビング	10名
2月3日	節分（豆まき）	山茶花リビング	10名
2月18日	料理教室（ホットサンド）	山茶花リビング	10名
2月21日	散髪	向日葵リビング	2名
3月3日	ひな祭り	山茶花リビング	10名
3月18日	料理教室（リンゴのケーキ）	山茶花リビング	10名
3月18日	風船遊び	山茶花リビング	9名
3月20日	施設周りの散歩	施設周り	6名

令和3年度 明日葉ユニット行事報告

月 日	行事内容	場 所	参加者
4月19日	散髪	向日葵ユニット	5名
5月17日	散髪	向日葵、山茶花	5名
5月25日	料理教室 (クレープ)	明日葉ユニット	10名
6月21日	散髪	明日葉ユニット	5名
6月28日	料理教室 (じゃがチーズ丸)	明日葉ユニット	10名
7月19日	散髪	明日葉ユニット	4名
7月22日	合同スイカ割り	山茶花ユニット	10名
7月28日	料理教室 (クリームソーダ)	明日葉ユニット	10名
8月16日	散髪	明日葉ユニット	6名
8月30日	料理教室 (梅ヶ枝餅)	明日葉ユニット	9名
9月20日	散髪	明日葉ユニット	5名
9月22日	ワンピースパン	明日葉ユニット	10名
9月24日	敬老会	明日葉ユニット	10名
10月18日	散髪	明日葉ユニット	5名
10月22日	料理教室 (マシュマロトースト)	明日葉ユニット	10名
10月26日	秋祭り	向日葵・山茶花	10名
11月11日	散髪	明日葉ユニット	4名
11月25日	料理教室 (アメリカンドッグ)	明日葉ユニット	9名
12月20日	散髪	明日葉ユニット	5名
12月23日	料理教室 & クリスマス会	明日葉ユニット	9名
令和4年			
1月17日	散髪	明日葉ユニット	5名
1月25日	料理教室 (ラーメン・餃子)	明日葉ユニット	9名
2月3日	節分 (豆まき)	明日葉ユニット	9名
2月13日	料理教室 (イチゴ大福)	明日葉ユニット	9名
2月21日	散髪	明日葉ユニット	5名
2月21日	料理教室 (ひつまぶし)	明日葉ユニット	9名
2月22日	カラオケ大会	明日葉ユニット	5名
3月2日	ひな祭り	明日葉ユニット	9名
3月8日	料理教室 (ピザ)	明日葉ユニット	10名
3月10日	散髪	向日葵ユニット	1名
3月21日	料理教室 (生チョコタルト)	明日葉ユニット	10名
3月21日	茶話会	明日葉ユニット	10名
3月21日	散髪	明日葉ユニット	3名
3月28日	花見ドライブ	荒尾市内周辺	4名

ユニット型特別養護老人ホーム オレンジヒル小岱添付資料(令和3年度)

入居者要介護度状況(3月31日現在)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

介護度		人数	平均介護度 3.87
要介護	1	0	
要介護	2	1	
要介護	3	8	
要介護	4	15	
要介護	5	6	
合 計		30	

性別	60歳～		75歳～		80歳～		85歳～		90歳～		95歳～		100歳以上	合計
	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	99歳								
男	0	0	2	1	2	0	0	5						
女	0	1	2	6	7	8	1	25						
合 計	0	1	4	7	9	8	1	30						

最高年齢	103	平均年齢	90.8
------	-----	------	------

入居状況(2.4.1～3.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	30	930	100%
5月	30	899	96.6%
6月	30	870	96.6%
7月	30	895	96.2%
8月	30	922	99.1%
9月	30	892	99.1%
10月	30	879	94.5%
11月	29	850	94.4%
12月	29	850	91.3%
1月	29	868	93.3%
2月	29	796	94.8%
3月	30	888	95.5%
合 計		10,539	
平均稼働率			95.7%

入退居状況(3.4.1～4.3.31)

月	入居者	退居者	退 居 理 由			
			帰宅	入院	死亡	その他
4月	0	0	0	0	0	0
5月	1	1	0	0	1	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	2	2	0	1	1	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	0	1	0
11月	1	3	0	0	2	1
12月	3	2	0	0	2	0
1月	2	2	0	0	2	0
2月	1	1	0	0	1	0
3月	2	1	0	0	1	0
合 計	13	13	0	1	11	1

オレンジヒル短期入所生活介護事業所事業報告

1 総括

デイサービス利用からショートステイ利用、その後、入所に繋がる連携はスムーズにとれました。

コロナ禍の影響で、新規ご利用者の制限や他事業所からの制限があり、稼働率においては前年度を大きく下回りました。今後も日常生活上の個別支援、コロナ禍での健康管理を行い、ケア体制の充実とご利用者・ご家族に安心して頂けるような生活の場を作り上げることが出来るように努めます。

2 活動実績

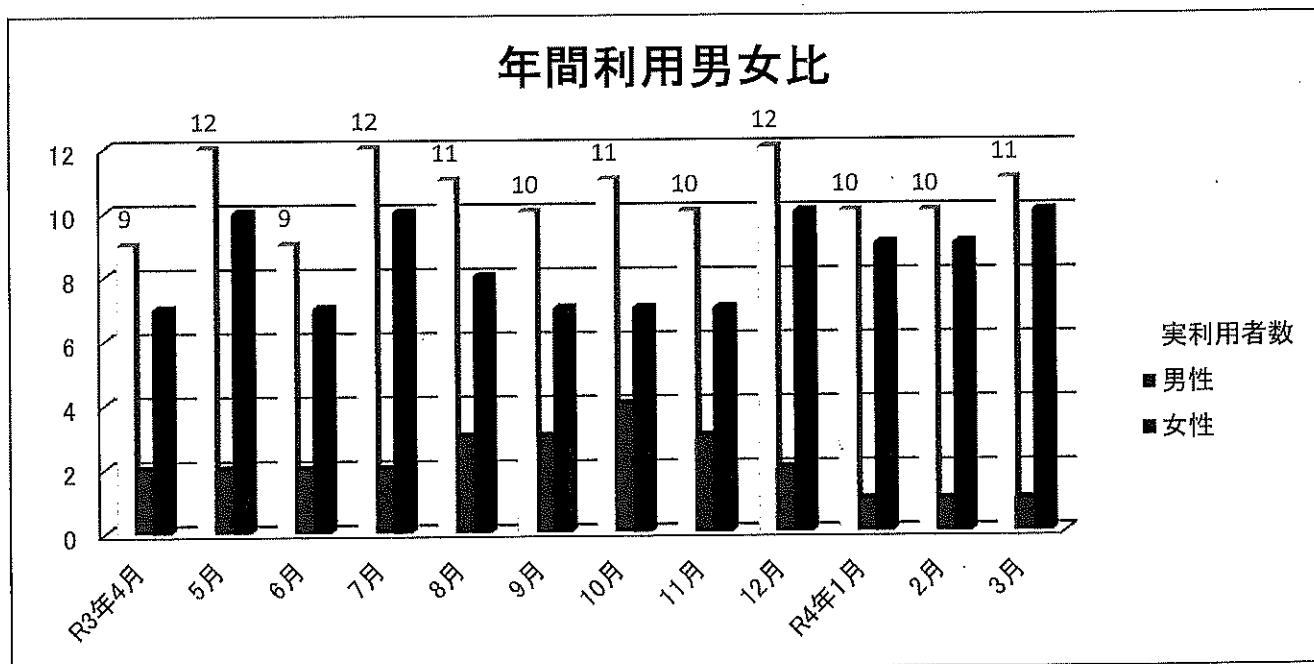
- (1) 入所前調査により一人ひとりの生活状況、身体的状況や生活歴の把握に努めて参りましたが、コロナ禍の影響で思うような入所前調査が出来ないことがありました。
- (2) 居宅介護支援事業所と密に連携を図り、情報の収集、提供、共有化を図る事が出来ました。
- (3) 当施設のデイサービスを利用されている場合は、デイサービスおよびショートステイでの生活の様子の情報交換を行ったことで、スムーズなオレンジでのサービス提供が出来ました。
- (4) 前年度に引き続き、感染防止対策の中、各事業所の訪問回数を増やすことは出来ませんでした。
- (5) サービス担当者会議は各事業所が感染対策を重視し、書面での担当者会議が増えましたが、出来る限り情報の共有を図りました。
- (6) ご利用者の個々の情報を共有し、事故防止に心掛け、安心安全に過ごして頂く事が出来ました。

(令和3年度)オレンジヒル短期入所生活介護事業所 添付資料

実績 年間利用人数

年/月	実利用者数(人)	延利用者数(人)	男性	女性	月間稼働率(%)
R3年4月	9	133	2	7	73.8%
5月	12	133	2	10	73.8%
6月	9	112	2	7	62.2%
7月	12	105	2	10	56.4%
8月	11	116	3	8	62.3%
9月	10	133	3	7	73.8%
10月	11	114	4	7	61.2%
11月	10	133	3	7	73.8%
12月	12	88	2	10	47.3%
R4年1月	10	114	1	9	61.2%
2月	10	126	1	9	75%
3月	11	111	1	10	59.6%
合計	127	1,418	26	101	
			年間平均稼働率		64.7%

年間利用男女比



年間介護度別 延べ利用者数一覧表

年月	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2
R3/4	11	18	74	30	0	0	0
5	11	28	63	31	0	0	0
6	17	21	44	30	0	0	0
7	25	24	34	22	0	0	0
8	19	41	56	0	0	0	0
9	19	49	65	0	0	0	0
10	21	52	41	0	0	0	0
11	51	56	26	0	0	0	0
12	31	35	20	2	0	0	0
R4/1	86	14	14	0	0	0	0
2	102	8	16	0	0	0	0
3	71	16	18	6	0	0	0

ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所事業報告

1 総括

令和3年度の空床利用による短期入所はありませんでした。

今後もコロナ禍における感染対策を十分に行い、ご利用者に安心して過ごしていただけるように職員一同、万全の体制を整えていきます。

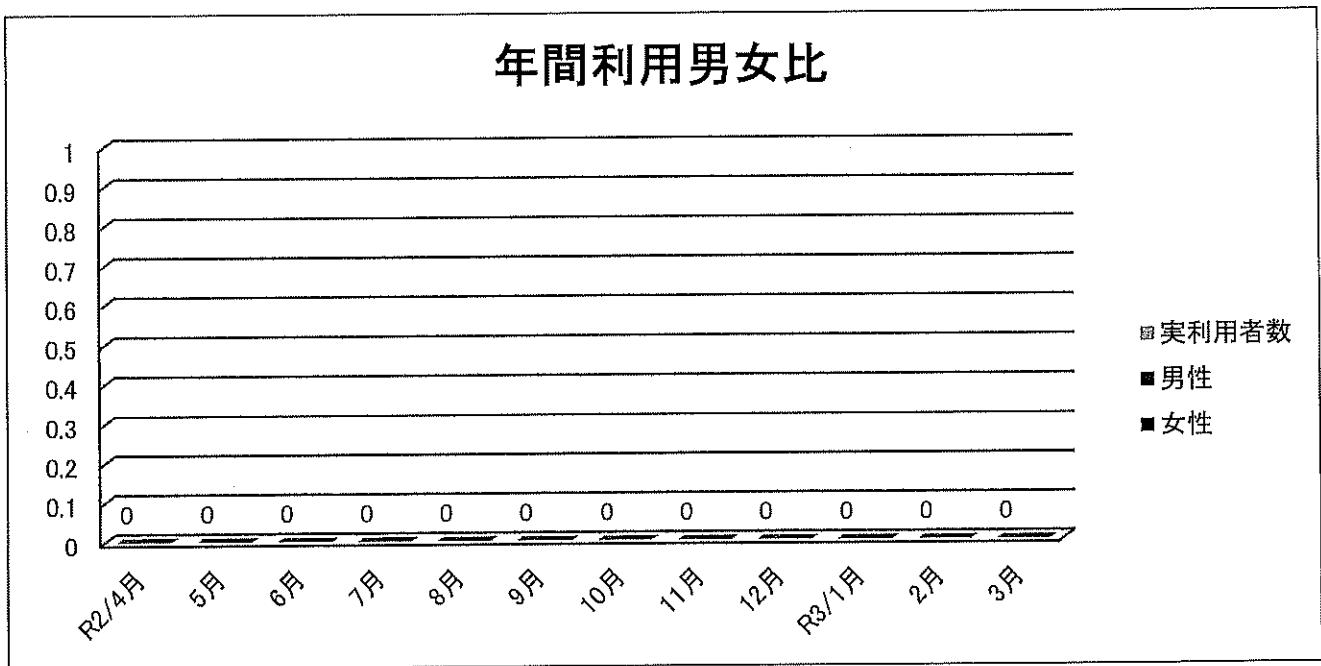
2 活動実績

令和3年度の利用実績がないために、今回は利用者数のデータ入力はありません。

ユニット型オレンジヒル短期入所生活介護事業所 添付資料(令和3年度)

実績 年間利用人数

年/月	実利用者数(人)	延利用者数(人)	男性	女性	月間稼働率(%)
R2/4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
R3/1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0
			年間平均稼働率		0



年間介護度別 延べ利用者数一覧表

年月	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2
R3/4	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0
R4/1	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0

オレンジヒル通所介護事業所事業報告

1 総括

前年度に引き続き新型コロナ感染予防をしながらの事業展開で、様々な社会生活が制限される中でのサービス提供は、満足がいくものではありませんでした。今年度の新規利用者数 12 名、終了者 15 名、毎月の利用休止者 6~8 名で、1 月の稼働率は 61.3%に下降しました。

主な理由として、リハビリ強化のための施設変更、特養への入居、死亡による利用終了が上げられます。同時に、12 月~2 月の 3 か月間での新規利用者がゼロという苦しい状況でした。

今後は、より一層、安定した利用者確保の為、個別機能訓練の更なる充実、新型コロナウイルス感染対策をしながらできるレクリエーションの提案、送迎範囲の検討、事業所への挨拶回り、他事業所との連携と関係作りなどを積極的に行い、同時に科学的介護の推進=LIFE 導入に取り組んで参ります。2025 年団塊の世代=高齢者予備軍へ魅力あるサービス提供に向けての改善、開発が今後必須の課題です。介護予備軍の憩いの場所として、新しく開始される総合事業への早急な取組を行っていきます。

2 活動実績

(1)(2) からだ元気教室では、人材の確保ができず実施できませんでした。

尚、今後サービス C (からだ元気教室) は、令和 4 年末より廃止が決定しており、現在の荒尾市の高齢者や介護保険制度を取り巻く環境を踏まえ、より自立支援に資する総合事業サービスを創設する予定です。人材の確保を急ぐ一方で、コロナ禍での研修参加は、オンライン研修に積極的に参加しました。

(3) 新型コロナウイルス感染予防の為、バスハイク・外出行事は自粛しましたが、外出や交流機会の減少により、ADL や認知機能の低下が心配される為、十分な感染対策のもとに年 2 回の書道展への作品出展・パイキング料理・お寿司の出前・屋台ラーメン・車窓にてのドライブ等を実施して気分転換を図りました。また、毎週行われる臨時感染予防委員会での情報を職員間で共有し実行に努めました。

(4) ①看護師が中心となり残存機能の維持向上を目的としたプログラムを作成実施し、心身共に健康増進に努めました。今もなお続くコロナ禍において、健康の維持増進を図るためには、セラピストの重要性を感じました。

②歯科医師による週 1 回の口腔チェックも好評で、その日に利用したい

という声が多く聞かれました。

- (5) コロナ禍にてサロンの中止もありましたが、会議やメール等での情報共有を図りながら、サロン開催時は、地域の方々に大変喜んで頂けました。また、府本地区でのサロン活動にも参加して欲しいとの依頼があり、実施することによって地域との広がりを感じています。

3 年間行事

4月	春野菜の苗植え・おやつ作り（スティックお好み焼き）
5月	おやつ作り（バラエティーたこ焼き）
6月	玉名ラーメン屋台・ふれあい書道展出展
7月	ソーメン流し・樺地区サロン参加
8月	かき氷祭り・料理教室（巻き寿司、いきなり団子）・樺サロン参加
9月	敬老会（プレゼントのみ）・樺サロン参加
10月	デイサービス秋祭り（屋台、余興）・樺サロン参加
11月	出前寿司（満腹セット）・樺サロン、府本サロン参加
12月	クリスマス会・お鏡餅作り・樺サロン、府本サロン参加
1月	新年会（バイキング料理・ふれあい書道展作品出展・樺サロン参加
2月	節分
3月	桜の花見（車窓）・握り寿司&スイーツ祭り

※ 毎月、対象者は誕生会を実施。

※ 慰問、全面中止。

(デイサービス) 令和3年度利用状況

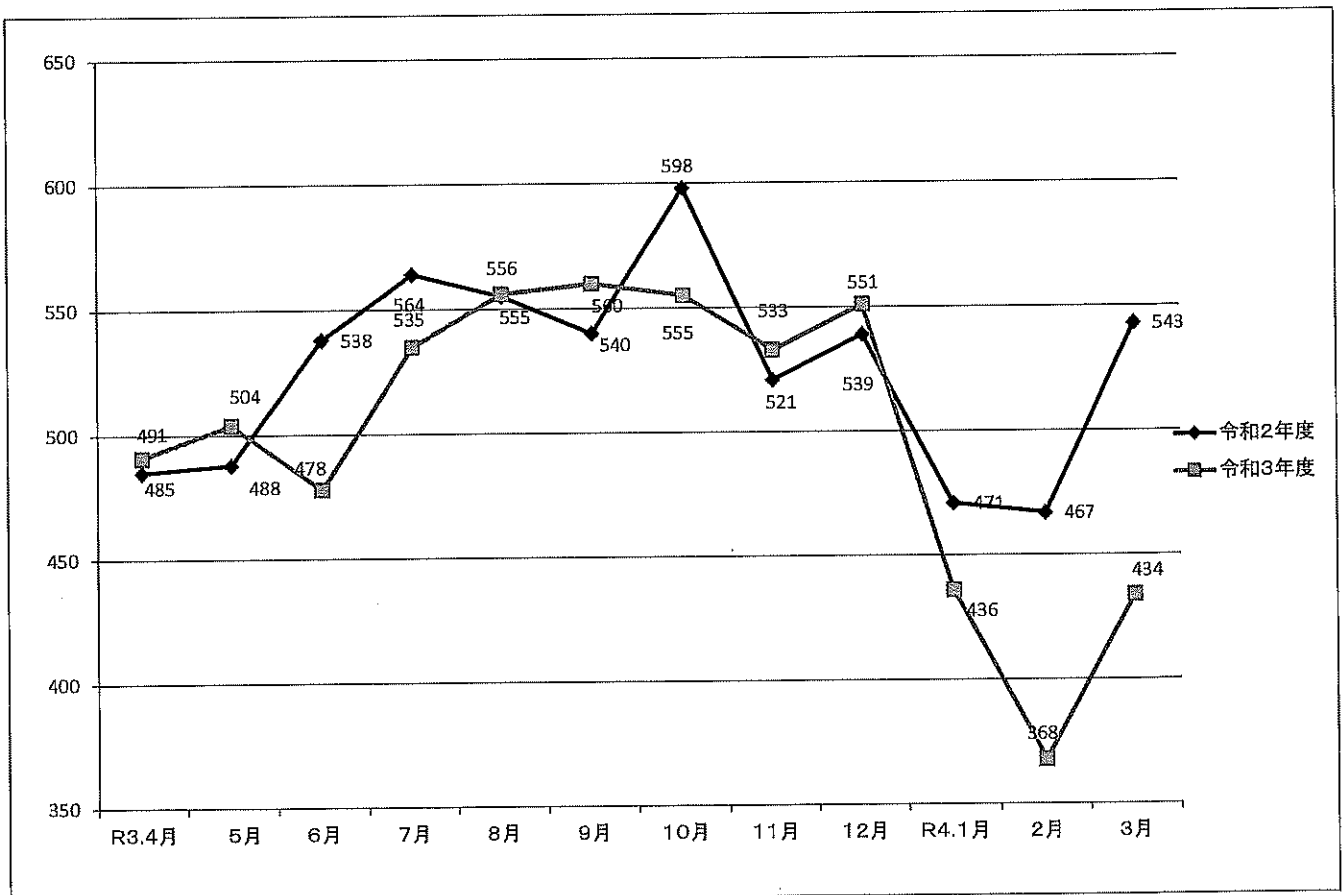
(表1) 令和2年度4月1日～令和3年3月31日 定員25名

年月	営業日数	介護(人)	総合事業(人)	合計利用者数	一日平均数(人)	稼働率100%の場合(人)	月間稼働率
R3.4	26	464	27	491	18.8	650	75.5%
5	26	481	23	504	19.3	650	77.5%
6	26	454	24	478	18.3	650	73.5%
7	27	507	28	535	19.8	675	79.2%
8	26	527	29	556	21.3	650	85.8%
9	26	532	28	560	21.5	650	86.1%
10	26	528	27	555	21.3	650	85.3%
11	26	507	26	533	20.5	650	82.0%
12	27	525	26	551	20.4	675	81.6%
R4.1	25	418	20	436	17.4	625	69.7%
2	24	345	23	368	15.3	600	61.3%
3	27	416	18	434	16	675	64.2%
合計	312	5704	299	6001	229.9	7800	921.7%
平均	26	475	24.9	500	19.1	650	76.8%

(表2) 前年対比

年度	営業日数	介護(人)	総合事業(人)	合計(人)	1日平均利用者数	1ヵ月平均定員数	年間稼働率
令和2年度	310	5893	416	6309	20.2	645	81.3%
令和3年度	312	5704	299	6001	19.1	650	76.8%
増減	2	-189	-117	-308	-1.1	5	-4.5%

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで利用者数推移及び令和2年度比較表



オレンジヒル居宅介護支援事業所事業報告

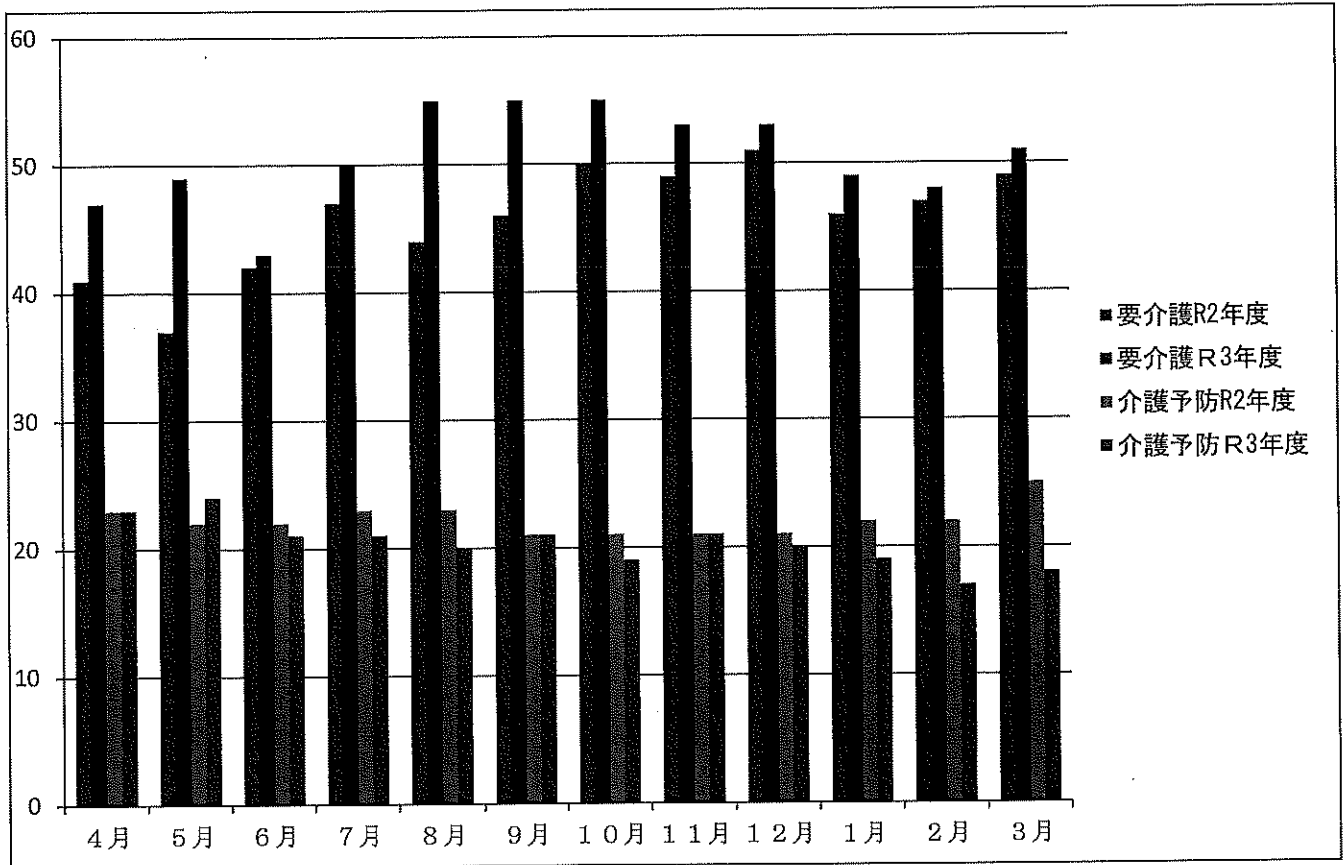
1 総括

ご利用者、ご家族との信頼関係の構築に努め、ご利用者の意思を尊重し、その方らしい生活ができる様に取り組みました。また、介護するご家族の不安を傾聴して、介護負担軽減の為に何をすべきか一緒に考え、適切な対応を心掛けました。サービス事業所等、多職種との連携に努めたことにより、件数増に繋がりました。個人情報については、慎重な取扱いに努めました。今後も、ご家族、サービス事業者等との連携を深め、情報交換を密に行い、支援してまいります。

2 活動実績

要介護度の認定は、年間 608 件、前年度比では 59 件増となりました。要支援の認定については、総合事業を含め 244 件で、前年度比 22 件減となりました。要支援から、要介護に移行した方が、増えている影響があると考えられます。

令和2・令和3年度 利用実績状況比較表



(表1) 給付管理件数

(件)

月	要介護			介護予防			合計
	男性	女性	計	男性	女性	計	
4月	11	36	47	9	14	23	70
5月	10	39	49	9	15	24	73
6月	11	32	43	8	13	21	64
7月	12	38	50	8	13	21	71
8月	16	39	55	8	12	20	75
9月	18	37	55	8	13	21	76
10月	19	36	55	8	11	19	74
11月	18	35	53	8	12	20	73
12月	18	35	53	7	13	20	73
1月	18	31	49	7	12	19	68
2月	17	31	48	7	10	17	65
3月	19	32	51	5	13	18	69
計	187	421	608	92	151	243	851

(表2) 給付管理件数前年度対比

月	要介護			介護予防		
	2年度	3年度	対比増減	2年度	3年度	対比増減
4月	41	47	6増	23	23	0減
5月	37	49	12増	22	24	2増
6月	42	43	1増	22	21	1減
7月	47	50	3増	23	21	2減
8月	44	55	11増	23	20	3減
9月	46	55	9増	21	21	0減
10月	50	55	5増	21	19	2減
11月	49	53	4増	21	21	0減
12月	51	53	2増	21	20	1減
1月	46	49	3増	22	19	3減
2月	47	48	1増	22	17	5減
3月	49	51	2増	25	18	7減
計	549	608	59増	266	244	22減

荒尾市老人介護支援センター事業報告

1 総括

荒尾市のランチとしての役割は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の全国的な流行に伴い、相談事業等がありませんでした。

また、外部へ向けての普及活動は、行政の指導の下、いきいきサロン等への参加を行う事が出来ましたが、年間を通してはできませんでした。

令和4年度は、コロナ禍の中で、状況を勘案しつつ相談事業及び普及活動を行います。

2 活動実績

(1) 介護保険関係や申請方法の対応はありませんでした。

(2) 普及活動として、府本地区、樺地区のいきいきサロンに参加しました。

特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
ユニット型特別養護老人ホームオレンジヒル小岱
給食事業報告

1 総括

令和3年度中は外出がなかなか難しく、季節の変化も感じにくかったため、行事食やイベント食には、季節の食材を多く取り入れるよう心がけました。衛生管理では、食中毒を発生させないように、換気にも注意しながら室内を適温適湿に保ち、調理従事者のみならず、職員の手洗い、消毒にも十分配慮し、清潔に作業を行うことで感染症の発生を防止することができました。

また、委託業者の移動等により味のバラつきや発注ミスが続いたため、委託会社と話し合いを持ち、改善されました。

2 活動実績

(1) 栄養ケアマネジメント

毎月の体重測定による体重の増減、朝（昼）礼や食事時ミールラウンドにより、日々の体調・食事摂取状況を把握し、低栄養状態になる危険性を判定し、食事形態の変更や栄養補助食品を付ける等の栄養ケアを実施しました。また、ご入居者全員を対象として、3ヶ月に1回モニタリングを実施し、ケアの見直しを行いました。

〈リスクの判定〉

令和4年3月31日現在

	低リスク	中リスク	高リスク	入院	合計
従 来	27	18	4	1	50
ユニット	18	10	0	2	30

(2) 食事形態

令和4年3月31日現在

主 食	従 来	ユニット	副 食	従 来	ユニット
ごはん	7	12	普 通	10	2
煮炊き	31	13	一口大	6	9
全 粥	7	0	粗キザミ	2	0
ソフト	1	3	キザミ	24	14
経管栄養	3	0	ソフト	4	3
入 院	1	2	経管栄養	3	0
食止め	0	0	入 院	1	2
			食止め	0	0
合計	50	30	合計	50	30

(3) 行事食・イベント食

開催日	行事・イベント内容	開催日	行事・イベント内容
令和3年 4月 3日	花見弁当 (デイ)	10月 11日	デイ秋祭り松花堂弁当
4月 29日	春の松花堂弁当	10月 31日	ハロウィン
5月 5日	端午の節句	11月 24日	熊本の郷土料理
6月 8日	屋台のラーメン (デイ)	12月 24日	冬至
6月 21日	福岡の郷土料理	12月 25日	クリスマス
7月 7日	七夕	12月 26日	餅つき (従来・ユニット)
7月 28日	土用の丑の日	12月 30日	餅つき (デイ・事務所)
8月 5日	かき氷 (デイ)	12月 31日	年越しそば
8月 6日	かき氷 (従来)	令和4年 1月 1日	お節料理
8月 11日	かき氷 (ユニット)	1月 7日	七草粥
8月 13日	かき氷 (デイ)	1月 11日	鏡開き
8月 15日	お盆	1月 18日	デイ新年会
8月 27日	デイ料理教室	2月 3日	節分
9月 20日	敬老の日	2月 14日	バレンタインデー
9月 21日	デイ敬老会松花堂弁当 お月見	3月 3日	ひな祭り
9月 23日	秋のお彼岸	3月 19日	にぎり寿司&スイーツ 祭り (デイ) 春のお彼岸

* 毎月 1 日は赤飯 12 日は昼食パン 15 日はちらし寿司を提供

特別養護老人ホーム共生の里津福 事業報告

1 総括

介護人材が不足し、十分な職員の補充ができない状況の中、限られた人員でご利用者が安心して過ごしていただけるよう、日中は3ユニットを2ユニットに分け、中規模ユニットケア体制での取り組みを継続実践するとともに、個別ケアの視点を見直しました。この取り組みにより、ご入居者は今までと変わらない生活を送っていただくことができ、介護職を中心とした多職種が1つのチームとして、ご利用者の生活を支えるチームケアを実践することができました。

令和3年度は、施設内で7名の看取り介護を実施させていただきました。ご利用者、ご家族の意向に可能な限り沿いながら、その方らしい最期が迎えられるよう、ご利用者、ご家族との関わりを重視した個別ケアを行いました。悪性腫瘍で看取り介護に至ったケースにおいては、施設嘱託医だけでなく外部の訪問看護事業所とも連携を図り、多職種協働で看取り介護を実践しました。

また、地域貢献活動としては、新型コロナウイルス感染症の影響で、久留米市や津福校区での地域行事等のほとんどが中止となり、十分な活動ができませんでした。次年度もコロナ禍が続くと予想されますが、引き続き、地域連携室を中心に可能な限り地域貢献活動への取り組みも積極的に行っていきます。

2 活動実績

(1) かすりユニット/みのうユニット（共通）

① 周辺の新型コロナウイルス感染者の状況に応じて、別室や時間を限定した面会、LINEアプリを使用したオンライン面会を行い、ご利用者、ご家族の不安やストレスの軽減を図りました。

また、外出等が制限されるなか、施設内でできる行事等を企画し、施設での生活が楽しみのあるものとなるよう努めました。

② 中規模ユニットケアを継続するにあたり、定期的またはご利用者の身体状況に変化がみられた際は、随時カンファレンスを開催し、ユニット間や多職種間との情報共有を図り、問題の早期解決や統一した個別ケアを提供することができました。また、面会制限が続くなか、面会時や電話、手紙を通して情報提供し、ご家族とも状態やケアについて情報を共有することができました。

エビデンスに基づいた自立支援・重度化防止を実践するために

LIFE を活用した科学的介護推進体制加算の算定を8月より開始し、ご利用者個々の心身の状態・ADL等の情報を提出しましたが、LIFEからのフィードバックデータの内容が不十分なこともあり、科学的介護の実践までには至りませんでした。次年度においては、LIFEからのフィードバックデータを活用することで、施設サービス計画書の見直しや日々のケアの改善に取り組めます。

(2) 看護課

- ① コロナ禍での生活が始まってから、令和3年度中に2年が経過しました。日常生活における感染予防については、職員同士で触発しあい、排泄介助時の使い捨てエプロンの使用や汚染パットが暴露しないように袋に入れ処分するなど、一人ひとりがより一層、対策の徹底を行いました。新型コロナウイルスワクチン接種が高齢者施設の入居者と施設従事者は優先的に接種可能となり、嘱託医との連携、協力のもと、5月～6月にかけて1回目、2回目接種を、2月には3回目接種をスケジュール通りに進めることができました。入居者が感染の可能性が考えられる場合や発熱した場合は、すぐに居室で隔離し、ゾーニングを行い嘱託医に報告、指示を受けコロナ検査を実施してきました。その結果、入居者に新型コロナウイルスの感染者はいませんでした。

年に1回の健診と慢性疾患に対しては、定期的な検査を実施し経過フォローしました。また、入居者の日頃の様子や生活、状態を把握している職員の「何かいつもと違う」という気付きからアセスメントし、嘱託医の診療により新たな病気が見つかることができました。また、早期発見、早期治療ができ、変わらず穏やかな生活を送ることができました。その一方で、療養入院のため退居された方が2名おり、医療ニーズが高いご利用者のケアについては、特養での生活における課題となりました。

- ② 看取り期においては、日に日に状態が変化するご利用者に対し、「痛くないように、苦しまないように、」という家族の思いに沿い、どう安楽に穏やかに過ごしていただくかを、医療・ケアチームとして何度も話し合い、その方にとっての最善の過ごし方を考え、対応しました。

また、コロナ禍で面会ができない状況が続いたことで、入居者への精神的な影響は大きいと感じました。状態変化はその都度家族へ報告し、オンライン面会等のICT活用も実施していましたが、会って話さないと伝わらない部分があり、今後の課題となりました。

かすり ユニット行事報告			
月 日	行事内容	場 所	参加者
4月12日	散髪	みのうりビング	4名
5月28日	三原様誕生日会	かすりリビング	1名
6月20日	父の日会	かすりリビング	10名
6月21日	パン移動販売	かすりリビング	2名
7月12日	散髪	みのうりビング	10名
7月13日	売店	事務所前	4名
7月27日	夏祭り	かすりリビング	10名
8月26日	立山様誕生日会	みのうりビング	1名
8月31日	伊達様誕生日会	みのうりビング	1名
9月22日	敬老会	みのうりビング	10名
10月11日	散髪	みのうりビング	10名
10月13日	お好み焼き作り	かすりリビング	10名
11月4日	さんま焼き	特浴室横テラス	10名
11月11日	井上様誕生日会	かすりリビング	1名
11月16日	パン販売	かすりリビング	10名
12月13日	散髪	みのうりビング	5名
12月19日	焼芋作り	かすりリビング	10名
12月25日	クリスマス会	かすりリビング	10名
12月27日	忘年会	かすりリビング	10名
1月1日	新年会 書初め	かすりリビング	10名
1月22日	江上様誕生日会	かすりリビング	1名
2月3日	節分会	かすりリビング	10名
2月13日	今村様誕生日会	かすりリビング	1名
3月24日	避難訓練	かすりリビング	3名
3月25日	八谷様誕生日会	かすりリビング	1名

みのうユニット行事報告			
月 日	行事内容	場 所	参加者
4月12日	散髪(中村様 弥永様)	会議室	2名
5月9日	母の日会	全員	10名
6月20日	父の日会	〃	〃
6月21日	移動販売(パン)	〃	〃
7月12日	散髪	〃	〃
7月15日	夏祭り	つつじ	5名
7月27日	〃	かすり	〃
8月2日	誕生会(清松様)	〃	1名
8月8日	誕生会(尾形様)	〃	〃
8月23日	誕生会(貝田様 東様)	〃	2名
9月22日	敬老会	みのう	10名
10月11日	散髪	会議室	〃
10月13日	(お好み焼き)高木様 尾形様 中村様 弥永様 清松様	かすり	5名
11月4日	さんま焼き	〃	10名
12月1日	外出(白木様)	自宅	1名
12月13日	散髪(白木様 貝田様 高石様 白木様)	会議室	5名
12月27日	忘年会	かすり	10名
1月1日	元旦	〃	〃
1月2日	書初め	〃	〃
1月6日	誕生会(中村様 宮原様)	〃	2名
2月3日	節分豆まき	〃	10名
2月4日	誕生会(加藤様)	つつじ	1名
3月24日	避難訓練	施設内	10名
3月25日	誕生会(高石様)	つつじ	1名

特別養護老人ホーム 共生の里津福添付資料(令和3年度)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

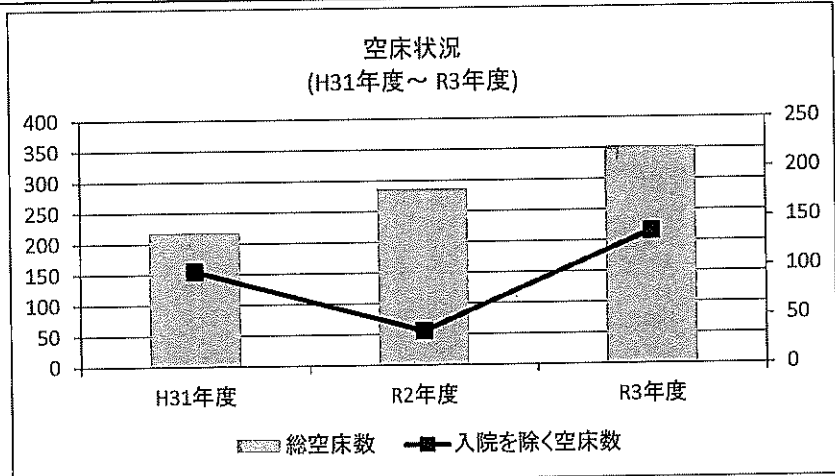
介護度	人数	平均介護度
要介護 1	0	4.1
要介護 2	0	
要介護 3	6	
要介護 4	6	
要介護 5	8	
合計	20	

年齢	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳以上	合計
性別	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	99歳		
女	0	1	2	0	1	8	4	2	18
男	0	0	0	0	1	0	1	0	2
合計	0	1	2	0	1	8	5	2	20

最高年齢	101歳	平均年齢	91.1歳
------	------	------	-------

入居状況(R3.4.1～R4.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	20	587	97.8%
5月	20	615	99.2%
6月	20	590	98.3%
7月	20	598	96.5%
8月	20	563	90.8%
9月	20	517	86.2%
10月	20	517	83.4%
11月	20	569	94.8%
12月	20	587	94.7%
1月	20	620	100.0%
2月	20	560	100.0%
3月	20	607	97.9%
合計		6,930	
平均稼働率			95.0%



	H31年度	R2年度	R3年度
総空床数	218	286	352
入院を除く空床数	97	35	135

入退居状況(R3.4.1～R4.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由		
			帰宅	死亡	その他
4月	2	1	0	1	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	1	0	1	0
7月	1	0	0	0	0
8月	0	1	0	0	1
9月	1	2	0	2	0
10月	2	2	0	1	1
11月	2	0	0	0	0
12月	2	2	0	1	1
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	1	1	0	1	0
合計	11	10	0	7	3

入居者平均在籍期間(3月31日時点)	
令和2年度	令和3年度
59.8ヶ月	50.2ヶ月

ショートステイサービス共生の里津福 事業報告

1 総括

ショートステイでは、マニュアルやガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染予防に取り組み、施設内での感染・まん延防止に努めました。

職員間の情報共有や他事業所との連携に加え、新型コロナウイルス感染症予防に取り組むことで、ご利用者、ご家族に安心して利用していただくことができ、在宅生活におけるご家族の負担軽減やご利用者の在宅生活継続を支援することができました。

特養入居待機中のロングショート利用者においては、新型コロナウイルス感染拡大防止による面会制限をするなか、久留米市の感染者の状況に応じた対応を行い、ご利用者の不安やストレス軽減、ご家族との関係性が薄れないよう努めました。

新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、特養入居待機のロングショート利用枠を9床としました。新規利用者は17名受け入れましたが、新規のロングショート利用者を受け入れる際に、受け入れ直前での利用キャンセルや新型コロナワクチン接種の関係で、日程を調整せざるを得ないケースがあり、令和3年度は年間稼働率90%を達成することができませんでした。次年度においては、医療機関や居宅介護支援事業所等との連携をさらに図りながら、事前に情報収集を行い、円滑な受け入れができるよう努めます。

2 活動実績

(1) つつじユニット

- ① 施設マニュアルに沿った感染対策や新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、ご家族、ケアマネージャーと相談しながら受け入れの調整を行い、利用前の検温・体調確認により、ウィルスの施設内侵入を防ぎ、施設内での感染・まん延を防止することができ、ご利用者の陽性者は0件でした。
- ② ご家族、ケアマネージャーとの情報交換や共有を行い、在宅生活を意識した情報収集やケアの実践に努めました。定期的に多職種協働でのカンファレンスを開催し、職員間の情報共有・連携や統一したケアを実践することができ、ご利用者、ご家族の身体的・精神的負担の軽減や在宅生活継続を支援することができました。
- ③ 久留米市の新型コロナウイルス感染者の状況に応じて、別室や時間を限定した面会、LINE アプリを使用したオンライン面会を行い、ご利用者、ご家族の不安を軽減することができ、関係性を保

つことができました。

また、外出等が制限されるなか、施設内でできる行事等を企画し、ご利用中の生活が楽しみのあるものとなるよう努めました。

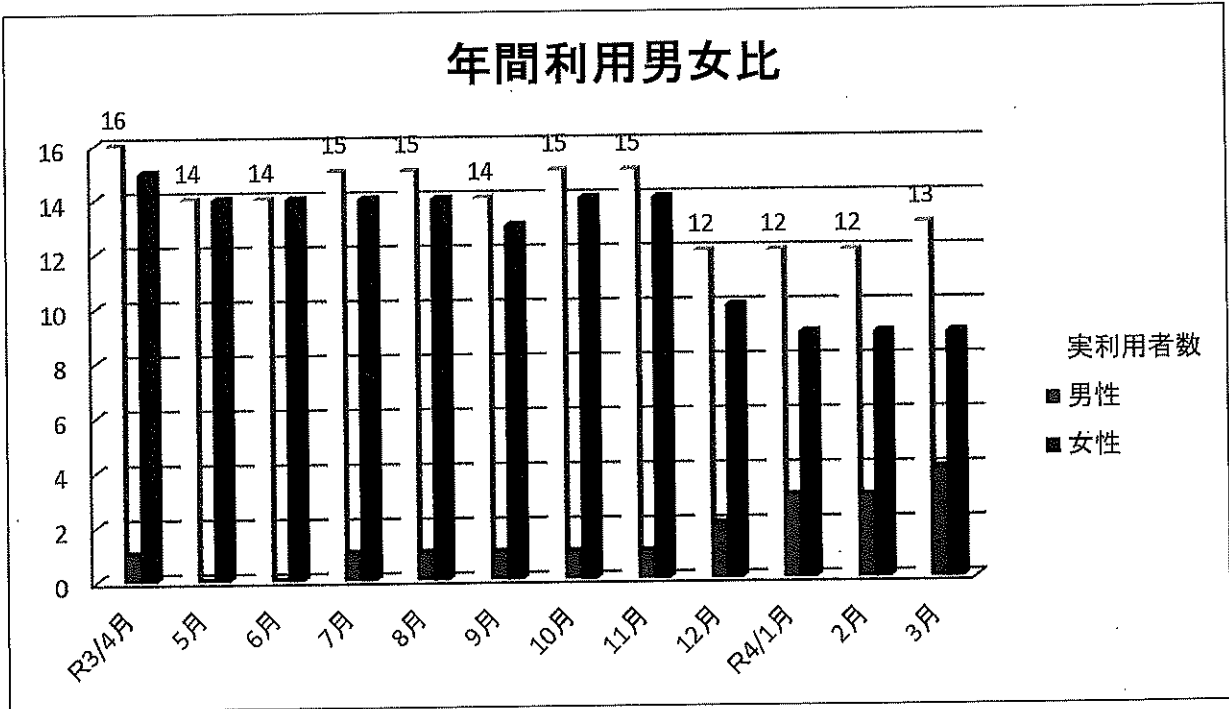
(2) 看護課

- ① 新規ご利用前の調査では調査票の項目に加え、ワクチン接種歴の確認、把握に努めました。ご利用中に発病や転倒などが起こった場合は、それぞれの主治医や家族と連携し対応しました。ご利用中の発熱者については、すぐに居室で隔離対応、ゾーニングを行い、嘱託医やそれぞれの主治医とも連携を図り、コロナ抗原検査を実施しました。その結果、ショートステイでの陽性者の発生はありませんでした。

年間利用者数 一覧表

年/月	実利用者数 (人)	延利用者数(人)	男性	女性	月間稼働率(%)
R3/4月	16	238	1	15	79.3%
5月	14	262	0	14	84.5%
6月	14	237	0	14	79.0%
7月	15	282	1	14	91.0%
8月	15	306	1	14	98.7%
9月	14	271	1	13	90.3%
10月	15	283	1	14	91.3%
11月	15	244	1	14	81.3%
12月	12	226	2	10	72.9%
R4/1月	12	286	3	9	92.3%
2月	12	274	3	9	97.9%
3月	13	288	4	9	92.9%
合計	167	3,197	18	149	
			年間平均稼働率		87.62%

年間利用男女比



年間介護度別 一覧表

年月	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2
R3年4	3	4	5	2	2	0	0
5	3	4	3	2	2	0	0
6	3	3	5	1	2	0	0
7	2	3	7	1	2	0	0
8	2	4	7	1	1	0	0
9	2	2	7	1	2	0	0
10	2	2	6	2	3	0	0
11	2	2	8	2	1	0	0
12	2	2	4	4	0	0	0
R4年1	2	2	5	3	0	0	0
2	2	2	5	3	0	0	0
3	1	2	6	4	0	0	0

デイサービスセンター共生の里津福 事業報告

1 総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う集団感染防止策を図るなかで、新規ご利用者受入れに重点を置きました。ご利用者の新型コロナウイルスの発生や確認事例はありませんでしたが、職員にコロナ陽性者が発生し、一時的に営業を中止せざるを得ない状況がありました。年間ご利用者数は前年比で、0.9%（7070→7075）増となりましたが、大幅な介護保険収入アップとはならず、引き続き次年度への課題が残りました。

令和4年度は、記録の電子化を行うことで業務の効率化を図り、ご利用者のニーズに応じられるようなサービス提供を心がけます。感染対策の実施は継続し、クラスター発生などの感染拡大を防止し、通所介護事業継続に向けた取り組みを実施していきます。

2 活動実績

（1）新型コロナウイルス等の感染予防

感染対策として、職員、ご利用者への定時のバイタルチェック、手洗い、手指消毒、マスク着用の徹底、飛沫感染防止のためのアクリル板設置、各居宅介護支援事業所やご家族、ご利用者への感染予防喚起等の文章配布や、送迎車輛やデイサービスホールの消毒と清掃を徹底しました。結果、年間を通じてご利用者に安心安全なサービスを提供することができ、ご利用者の新型コロナウイルス発症者は0件でした。

（2）地域連携強化と収入の安定化

新型コロナウイルス感染症の影響で地域との交流は行えませんでした。毎月の行事やご利用者の要望を取り入れたレクリエーション（移動販売・花見等）を実施することで、喜びの声が多く聞かれ、ご利用者、ご家族に満足して頂くことができました。広報・営業活動では、毎月空き情報のFAX送信を積極的に行い、事業所の特色や空き状況を知って頂くことで、体験利用や新規の問い合わせが増え、新規利用者の獲得には繋がりましたが、入院や施設入所されるご利用者が相次いだこともあり、年間延べ利用者数に伸び悩みを見せた結果となりました。

（3）生産性の向上とPDCAサイクルの推進

ご利用者、ご家族の要望に対応する為に、職員一人ひとりが業務内容を見直し、業務の効率化を図りましたが、管理者の退職や人員不足も伴い、業務内での書類作成ができない時期もあったことから、限られた人員での業務効率化を図るための方策に課題が残りました。ご利用者、ご家族の要望を把握し、管理栄養士や多職種職員間の連携を図り、栄養状態、嗜好、食事形態に配慮した食事を提供するなどの取り組みは実施できたものの、LIFEを導入しての個々のご利用者に対しての計画・実行・評価・改善までの取り組み、新設された加算算定には至らず、PDCAサイクルの推進については、令和4年度の継続課題となりました。

3 年間行事実績

月	3年/日	行事内容	場所	参加者
4	3	雛祭り行事	デイホール	全員
	5	共生の里菜園(二十日大根)	デイホール	希望者
	8	集団レク(お釈迦様の日)	デイホール	希望者
	13	おやつセレクト(ミスタードーナツ)	デイホール	全員
	16	移動販売 フルーツサンド作り	デイホール	全員
	19	昼食レク(春の食材弁当)	デイホール	全員
	23	おやつレク(桜あんぱん)	デイホール	全員
5	3	お風呂の日(お茶風呂)	お風呂場	全員
	12	お楽しみおやつ(シャトレゼ)	デイホール	全員
	13	物作り(マスク作り)	デイホール	希望者
	18	昼食レク(八女茶と揚げたて天ぷら)	デイホール	全員
	21	移動販売(パン販売)	ロビー	希望者
	22	おやつレク(お茶パン)	デイホール	全員
6	1	折り紙で紫陽花作り	デイホール	希望者
	7	風鈴作り	デイホール	希望者
	14	傘作り	デイホール	希望者
	16	セレクトおやつ	デイホール	全員
	21	七夕飾り作り	デイホール	希望者
	23	昼食レク(トルコライス)	デイホール	全員
	28	おやつレク(パフェ作り)	デイホール	全員
7	3	アイスの日(レディーボーデン)	デイホール	全員
	7	カルピスの日	デイホール	全員
	7~10	七夕リース作り	デイホール	希望者
	13	移動販売(パン販売)	ロビー	希望者
	21	集団レク(スイカ割りゲーム)	デイホール	全員
	22	昼食レク(鰻)	デイホール	全員
	23	集団レク(オリンピック開会式)	デイホール	全員
	27	おやつレク(クッキー作り)	デイホール	全員
8	9~14	ひまわり作り	デイホール	希望者
	17	夏祭り	デイホール	全員
	20	食事レク(ぶっかけ素麺)	デイホール	全員
	24~30	お花を咲かせましょう	デイホール	希望者
	25	おやつレクリエーション(フルーツポンチ)	デイホール	全員

9	10	おやつセレクト(ミスタードーナツ)	デイホール	全員
	13~17	彼岸花作り	デイホール	希望者
	16	集団レクレーション(競馬の日)	デイホール	全員
	18	食事レク(行楽弁当)	デイホール	全員
	20	敬老会(表彰式・職員出し物)	デイホール	全員
	23	おやつレクレーション(パン作り)	デイホール	全員
10	7	おやつセレクト(シャトレゼ)	デイホール	全員
	11	パンの移動販売	ロビー	希望者
	12~16	スポーツ週間	デイホール	希望者
	18	食事レク(ハロウィン昼食)	デイホール	全員
	19~23	創作レクレーション週間	デイホール	希望者
	29	おやつレク(ハロウィンかぼちゃプリン)	デイホール	全員
11	1	画用紙で菊の花作り	デイホール	希望者
	8~9	マスコット作り	デイホール	希望者
	11	おやつセレクト(ペコちゃんのほっぺ)	デイホール	全員
	16	昼食レク(さつまいもご飯)	デイホール	全員
	16	パンの移動販売	ロビー	希望者
	18	エコ人形作り	デイホール	希望者
	27	おやつレク(スイートポテト作り)	デイホール	全員
12	1~6	お花紙でポインセチア作り	デイホール	希望者
	8~11	サンタの人形作り	デイホール	希望者
	15	昼食レク(海鮮ちらし寿司)	デイホール	全員
	17	移動販売	ロビー	希望者
	20	ハンドビューティー	デイホール	希望者
	22	冬至(柚子風呂)	お風呂場	全員
	24	クリスマス会(サンタクロースのプレゼント渡し)	デイホール	全員
	27	おやつレク(ピザ作り)	デイホール	全員
1	3	屠蘇会	デイホール	全員
	4~8	初詣	施設駐車場	希望者
	7	おやつセレクト(干支饅頭)	デイホール	全員
	11~15	お正月ゲーム週間	デイホール	希望者
	17	移動スーパー(とくし丸)	玄関入口	希望者
	17~22	2022年カレンダー作り	デイホール	希望者
	20	昼食レク(蕎麦)	デイホール	全員

	2 5	おやつレク(豚まん作り)	デイホール	全員
2	1~5	めで鯛撮影会	デイホール	希望者
	3	節分(豆まき)	デイホール	全員
	1 4	バレンタイン折り紙	デイホール	希望者
	1 8	昼食レク(にゅう麺)	デイホール	全員
	2 1	移動スーパー(とくし丸)	玄関入口	希望者
	2 3	おやつレク(フルーツサンド)	デイホール	全員
	2 6	お風呂の日(椿風呂)	お風呂場	全員
3	3	雛祭り(雛飾りと写真撮影会)	ロビー	希望者
	11	おやつセレクト(駄菓子の日)	デイホール	全員
	18	キリンレモンの日(湯上がりの飲んで頂く)	デイホール	全員
	20	移動スーパー(とくし丸)	玄関入口	希望者
	25	お風呂の日(草津温泉)	お風呂場	全員
	26	三ツ矢サイダーの日(湯上がりに飲んで頂く)	デイホール	全員

※誕生会・映写会毎月実施

3 クラブ活動実績一覧

工作レク	園芸レク	美容レク	花札レク
リユースレク	カラオケレク	手芸レク	テーブルゲームレク
おやつレク	書道レク	折り紙レク	映画レク
美術レク	トランプレク	買い物レク	読書・紙芝居レク
脳トレレク	おはじきレク	囲碁将棋レク	回想レク
食事レク	おやつセレクトレク	料理レク	お散歩レク

デイサービス利用状況

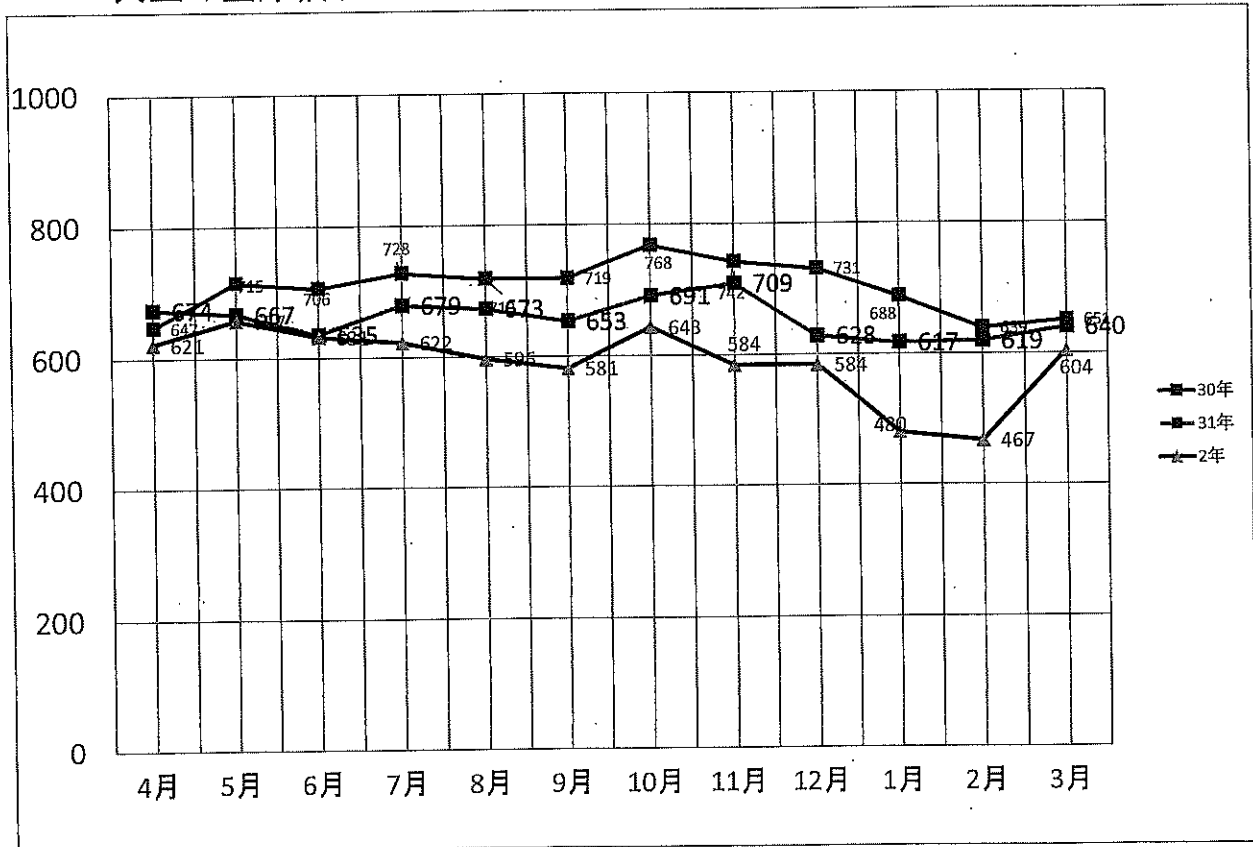
(表1) 令和2年4月1日～令和3年3月31日 定員35名

年月	営業日数	介護(人)	予防・事業対象者(人)	合計利用者数(人)	一日平均数(人)	月間利用率100%の場合(人)	月間利用率(人)
令和2年4月	26	554	67	621	24	910	68.2%
5	26	578	79	657	25	910	72.1%
6	26	552	79	631	24	910	69.3%
7	27	547	75	622	23	945	65.8%
8	26	534	62	596	23	910	65.4%
9	26	519	62	581	22	910	63.8%
10	27	552	91	643	24	945	68.0%
11	25	500	84	584	23	875	66.7%
12	26	509	75	584	22	910	64.1%
令和3年・1	24	419	61	480	20	840	57.1%
2	24	404	63	467	19	840	55.5%
3	27	539	65	604	22	945	63.9%
合計	310	6207	863	7070	23	10850	
平均	25.8	517.3	71.9	589.2	23	904.2	64.9%

(表2) 前年対比

年度	営業日数	介護(人)	予防・事業対象者(人)	年間合計	1日平均数	1ヵ月平均数	月間稼働率
平成30年	309	7185	1268	8453	27人	691.8人	78.1%
平成31年	310	6815	1070	7885	25人	657人	72.3%
令和2年	310	6207	863	7070	23人	589人	65.0%
前年比増減	0	-608	-207	-815	-2	-68	-7.2%

共生の里津福デイサービス 平成30年度～令和2年度利用者推移表



ケアプランセンター共生の里 事業報告

1 総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症によりケアマネ業務の改善及び効率化を迫られましたが、ケアマネジメントへの専門的な知識を基礎に、ご利用者、ご家族に適切なケアマネジメントを継続することができました。

事業所内会議、外部（オンライン）研修会への参加、久留米西圏域居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの包括主催の事例検討会及び合同勉強会、自法人内のケアマネ、生活相談員及び久留米西圏域居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの共生の里主催の合同事例検討会、久留米市及び地域包括支援センター主催の自立支援地域ケア会議での情報共有を通して、ケアマネジメントへの理解を深めることができました。更に、多職種の人材と連携を図る事により、病気、栄養面、薬、リハビリ等に関する情報交換を行い、専門的な知識の習得ができました。その結果、自立支援の要素を加えたご利用者の意欲を引き出す（楽しみ・喜び・役割）ケアプラン作成に繋がりました。

また、医療と介護の切れ目のない支援体制を、構築する目的で策定された「久留米市における入退院時の連携ルール」に従い、医療機関との連絡・連携に努め、ご利用者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援しました。

令和3年5月時点では4人体制で特定事業所加算Ⅱを算定していましたが、令和3年6月以降3人体制となり、特定事業所加算Ⅲの算定となりました。令和4年3月時点で3.5人体制を維持し、特定事業所加算Ⅲの加算算定を継続しています。

24時間の連絡体制を継続する事により、ご利用者やご家族、各関係機関からの緊急を要する相談や連絡に対して、迅速に対応する事ができました。

介護支援専門員の体制が整い、加算算定が可能になったと同時に、ご家族からの相談、法人及び他法人、地域包括支援センター、医療機関の紹介により新規依頼は増えていますが、前年度に比べ収入は減少しました。収入増に向け、ケアマネの質の向上、人員体制を整備した上で、継続して相談者が連絡しやすい体制構築、気軽に相談できる窓口の開設、地域包括支援センター、法人、他法人、医療機関との連絡及び連携の継続、事業所内及び外部研修の参加をする事により、利用者の確保による収入増に努めていきます。

2 活動実績

① ケアマネジメント及び相談援助技術の向上について

事業所内での会議や話し合いを通して、情報収集の仕方や課題についての整理や見立て、支援による期待できる効果を考えたケアプラン作成等、一連のケアマネジメントについての理解を深めました。

また、地域包括支援センターが主催する自立支援地域ケア会議に出席し、事例の提

供を行いました。事例をもとに、多職種の見解や助言を頂き、職員一人ひとりの専門的な知識の習得や、ケアマネジメント力の向上を図りました。

更に、久留米西圏域居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの事例検討会及び合同勉強会、自法人、久留米西圏域居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの共生の里主催合同事例検討会を開催する事により、職員一人ひとりの専門的な知識の習得、ケアマネジメント力の向上を図りました。

サービス調整の際は、ご利用者に複数のサービスを紹介し、ご利用者の選択のもと、サービスの調整を行いました。

その結果、ケアマネジメントの公正・中立の確保ができ、ご利用者に対する目標指向・自立支援型のケアプラン作成に繋がりました。

②地域包括支援センターや各関連機関との連携について

地域の関係機関や事業所との連携については、主任介護支援専門員が在籍する事業所として、久留米西圏域（荒木、安武、大善寺、城島、下田、青木、江上、浮島、犬塚、三瀧、西牟田校区）の地域包括支援センターが主催する自立支援地域ケア会議はコロナ感染予防により中止となっていましたが、久留米西圏域の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの令和3年11月の事例検討会及び、令和3年10月、令和4年3月主催の合同勉強会には参加し、ご利用者視点のケアプラン作成や難しい事例に対する支援方法等を一緒に考え、介護支援専門員としての専門性を高めることができ、互いに成長する機会となりました。

また、久留米西圏域の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの事例検討会及び合同勉強会に参加する事により、地域包括支援センター、久留米西圏域の主任介護支援専門員が在籍している居宅介護支援事業所と連携し、地域の社会資源についての課題や情報共有を行いました。

久留米中央、西、南、北圏域の地域包括支援センターからの予防、総合事業委託については、事業所内の介護支援専門員で調整しながら積極的に対応しました。

③事業所の体制について

ご利用者が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が出来るよう、各職員が携帯電話を使用し、24時間連絡が取れる体制を整備しました。

台風、豪雨、豪雪の予報が出た際は、独居や高齢者世帯のご利用者に対して電話や訪問を行い、安否確認、災害に関する情報提供、避難場所の確認を行いました。24時間連絡が取れる体制を継続したことで、ご利用者や同居のご家族、遠方に住んでいるご家族の安心感に繋がりました。また、地域包括支援センターや医療機関、法人等からの相談や連絡等に対して迅速に対応を行った結果、利用者の確保が保持できました。

令和3年度の聖マリア学院大学の看護実習については、新型コロナウイルス感染予防により中止になりました。令和3年度の聖マリア学院大学の看護実習は、聖マリア

ケアプランサービスで対応することになりました。

④入退院時の医療機関との連携

医療機関との連携については、ご利用者に対して日頃より、介護保険証・健康保険証と一緒に担当介護支援専門員の名刺を挟んで頂くようお願いしました。

その結果、入院の際は、担当介護支援専門員と医療機関が早期に在宅時の情報提供や情報共有が出来、退院に向けて早い段階から疾病の状況やご利用者の意向、ご家族の介護・協力体制等の確認を取る事が可能となりました。

また、必要な際はカンファレンスに参加し、退院後の必要な介護保険サービスやその他のサービス調整を行い、ご利用者が安心して生活出来るように支援しました。

⑤共生の里各部署の介護支援専門員との連携について

共生の里各部署の介護支援専門員及び生活相談員等との連携については、2カ月に1回（偶数月第2週：13：30～15：00）の事例検討会を開催する事により、ケアマネジメント力の向上を図りました。

また、共生の里各部署の介護支援専門員との事例検討会に参加する事により、各部署の介護支援専門員及び生活相談員等と連携し、ケアマネジメントについての課題や情報共有を行いました。

更に、久留米西圏域居宅介護支援事業所ケアマネ及び地域包括支援センター職員が参加する事により、久留米西圏域居宅介護支援事業所ケアマネ及び地域包括支援センター職員、共生の里内の介護支援専門員及び生活相談員等との連携、課題についての情報共有、ケアマネジメント力の向上を図りました。

給付管理票提出状況

【令和2年度】

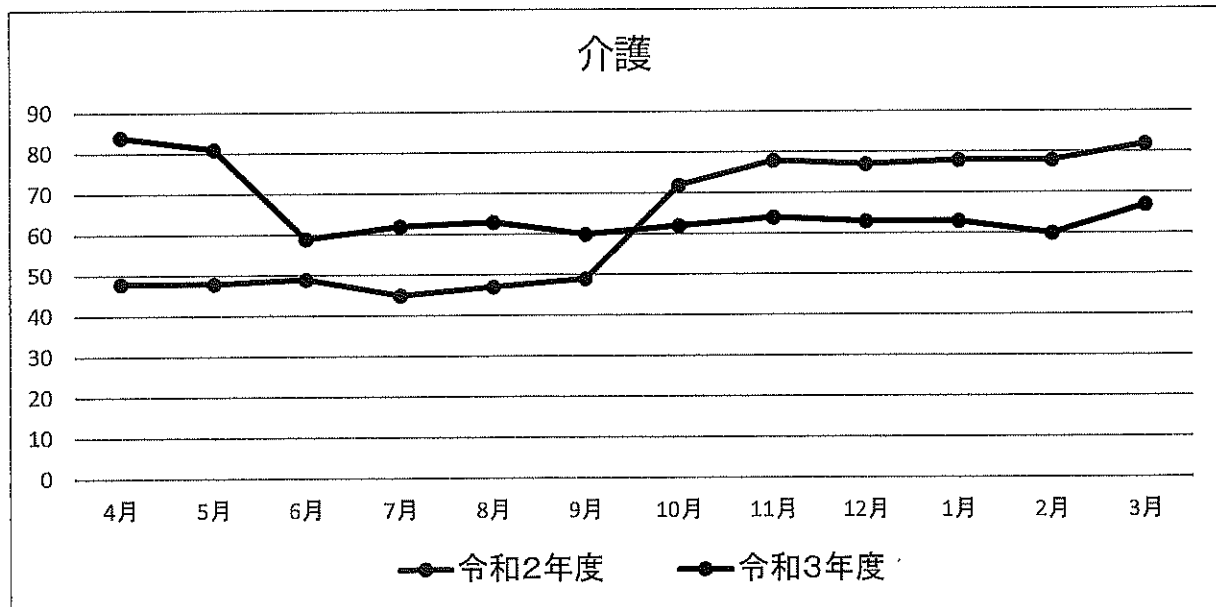
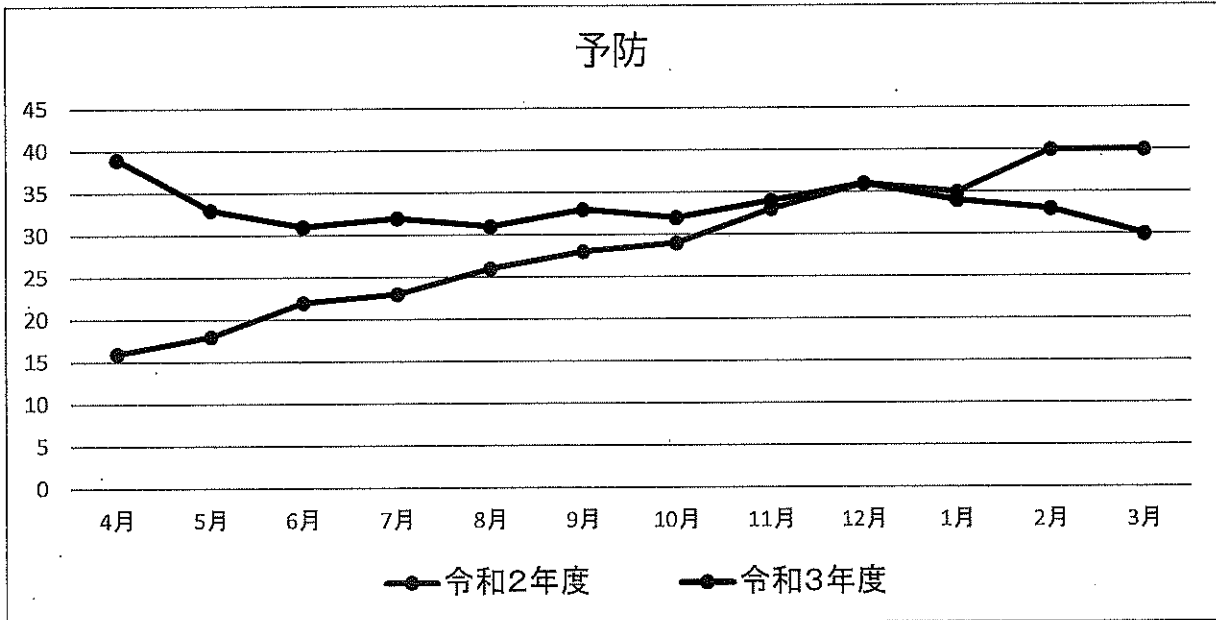
	介護			予防			総合計
	男	女	合計	男	女	合計	
4月	15	33	48	3	13	16	64
5月	16	32	48	3	15	18	66
6月	17	32	49	3	19	22	71
7月	17	28	45	4	19	23	68
8月	16	31	47	7	19	26	73
9月	17	32	49	6	22	28	77
10月	27	45	72	5	24	29	101
11月	28	50	78	5	28	33	111
12月	30	47	77	7	29	36	113
1月	33	45	78	5	30	35	113
2月	33	45	78	6	34	40	118
3月	29	53	82	7	33	40	122
合計	278	473	751	61	285	346	1097

(件)

【令和3年度】

	介護			予防			総合計
	男	女	合計	男	女	合計	
4月	31	53	84	5	34	39	123
5月	27	54	81	4	29	33	114
6月	21	38	59	4	27	31	90
7月	23	39	62	4	28	32	94
8月	22	41	63	5	26	31	94
9月	22	38	60	5	28	33	93
10月	24	38	62	6	26	32	94
11月	23	41	64	6	28	34	98
12月	22	41	63	7	29	36	99
1月	20	43	63	7	27	34	97
2月	16	44	60	6	27	33	93
3月	19	48	67	4	26	30	97
合計	270	518	788	63	335	398	1186

(件)



【令和3年度 事業所単位の加算の内訳】

居宅介護支援事業所単位の加算（特定事業所加算Ⅱ：400単位・Ⅲ：300単位）									
	初回加算	退院・退所加算	入院時情報連携加算	小規模連携加算	看護小規模連携加算	緊急時等ケア・ファレンス加算 ターミナルケアマネジメント加算	通院時情報連携加算	特定事業所加算	
4月	3	0	3	0	0	0	3	Ⅱ	
5月	2	1	2	0	0	0	0	Ⅱ	
6月	4	0	3	0	0	0	0	Ⅲ	
7月	0	5	2	0	0	0	1	Ⅲ	
8月	1	2	3	0	0	0	1	Ⅲ	
9月	2	0	2	0	0	0	4	Ⅲ	
10月	2	3	2	0	0	0	2	Ⅲ	
11月	4	1	1	0	0	0	0	Ⅲ	
12月	1	0	3	0	0	0	1	Ⅲ	
1月	4	0	0	0	0	0	1	Ⅲ	
2月	1	0	0	0	0	0	0	Ⅲ	
3月	7	0	6	0	0	0	0	Ⅲ	
合計	31	12	27	0	0	0	13		

【令和3年度 紹介率及び紹介件数の内訳】

	デイサービス				ショートステイ				小規模	
	紹介総件数	津福（紹介件数）	荒木（紹介件数）	共生の里紹介率	紹介総件数	津福（紹介件数）	荒木（紹介件数）	共生の里紹介率	津福（紹介件数）	荒木（紹介件数）
4月	48	12	10	46%	15	4	7	73%	0	0
5月	50	13	11	48%	11	3	4	64%	0	0
6月	38	14	13	71%	7	3	3	86%	0	1
7月	38	14	13	71%	10	3	4	70%	0	0
8月	39	14	12	67%	12	3	6	75%	0	0
9月	39	14	12	67%	7	2	3	71%	0	0
10月	40	14	14	70%	10	3	4	70%	0	0
11月	41	15	14	71%	11	3	3	55%	0	2
12月	40	15	15	75%	11	4	3	64%	0	2
1月	43	13	17	70%	8	2	2	50%	0	0
2月	44	14	17	70%	6	2	1	50%	0	0
3月	43	12	17	67%	7	3	2	71%	0	0
合計	503	164	165	65%	115	35	42	67%	0	5

【令和2年度 実習受入状況】

実習名	学校名	実習期間	受入人数
在宅看護実習	聖マリア学院大学	コロナ感染予防により受け入れ中止	0

小規模多機能型居宅介護事業所共生の里津福 事業報告

1 総括

事業所の理念でもある、私（ご利用者）・地域の方々が「また来たい」「また来てね」「また一緒に行こう」を念頭に、サービスの提供に努めました。

収益面では、ほのぼのソフトを使用した記録の電子化への移行ができず、LIFE を活用した新加算算定の目標は達成できませんでしたが、比較的介護度の高いご利用者を獲得できたこともあり、前年度比約500万円の収入アップに貢献することができました。また、ご利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう、心身の状況、生活環境を考慮すると共に、ご家族の介護負担が軽減できるよう、通所・宿泊・訪問サービスを組み合わせた小規模多機能ならではの支援が提供できました。

2 活動実績

(1) 地域との共存・共生を図る

新型コロナウイルスの影響にて地域との交流を図ることが困難な1年となりました。対面での運営推進会議が開催できない時期も多く、地域との情報交換・意見交換等ができず、情報収集に苦勞しました。限られた会議の中で、コロナに関する情報提供や施設の取り組みについて、地域の方々へ説明させていただきました。

新型コロナウイルス対策として、職員出勤前の体温チェック、ご利用者のバイタルチェック、手洗い、消毒、マスク着用の徹底、飛沫防止のためのアクリル板の設置、ご利用者・ご家族との感染防止のための情報の共有を行い、陽性者の発生はありませんでした。また、ご利用者のコロナワクチン接種支援を積極的に行いました。

(2) 安定した利用者の確保

登録平均22名を継続して確保できるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、病院のソーシャルワーカー等に空き状況を電話等にてお知らせするなどの広報活動を行いました。

また、主に訪問サービスが必要な利用者を獲得し、通いに来なくても訪問で在宅生活が継続できるよう支援していきました。

(令和3年度の登録人員は、月平均 21.5人となりました。)

(3) 栄養改善加算の実施

歯科医師・管理栄養士と連携し、6ヵ月ごとに栄養改善加算の算定に努めました。通いで事業所へ来所時、口腔ケアにて歯科治療が必要な利用者に気付き、歯科受診等を提案し、治療、改善することで在宅生活の継続を支援しました。

(4) 新設加算の算定

科学的介護推進体制加算を始めとした、新加算算定については、記録電子化への移

行に至らず、データベースLIFE を活用することができませんでした。次年度の継続課題として取り組みを行います。

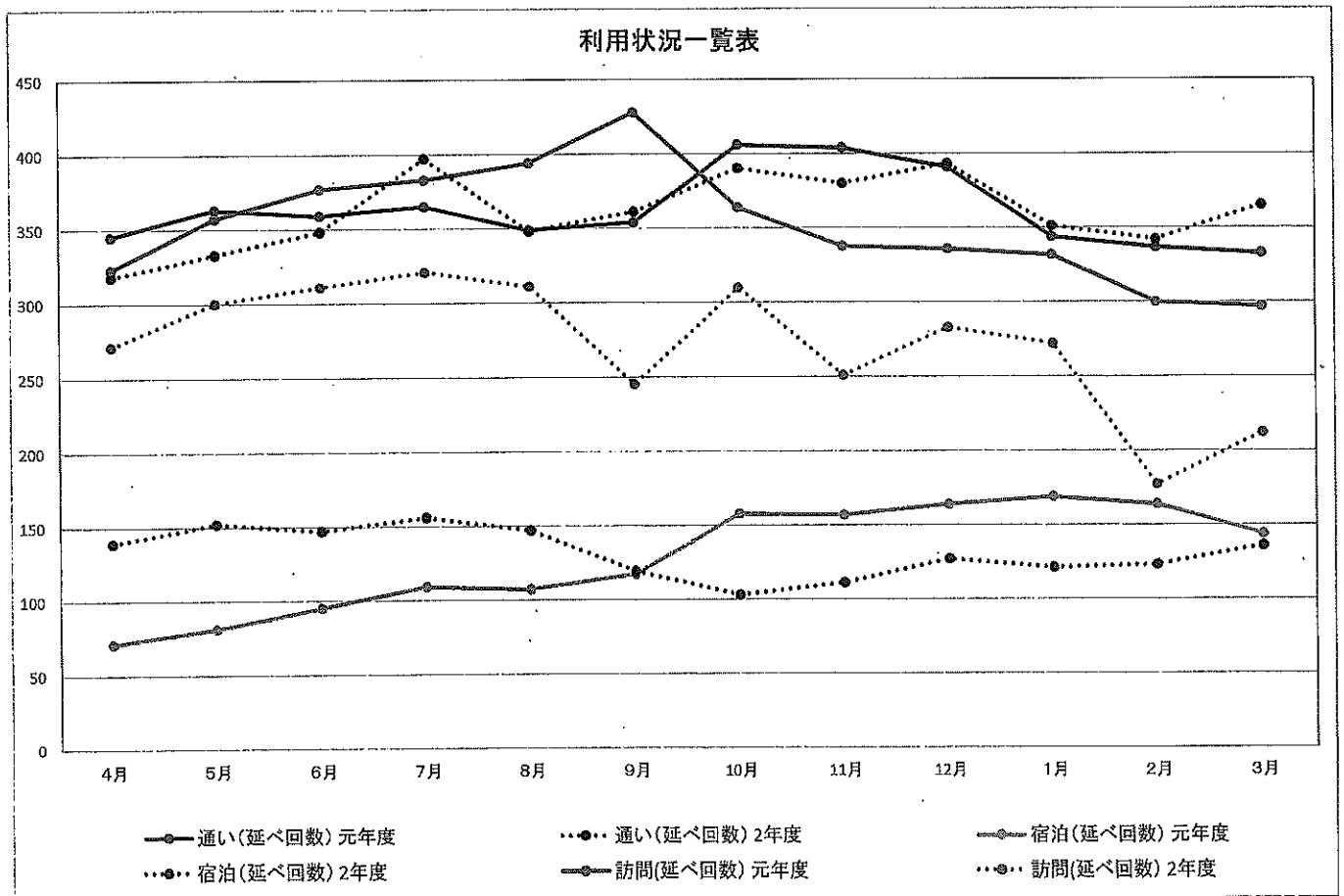
3 行事報告（令和3年度）

月	行 事	月	行 事
4	花見（さくら）、施設内調理（お好み焼き・焼きそばパーティー）	10	誕生会（ケーキ）小規模レク（運動会、お弁当外注）
5	小規模レク（資さんうどん外注、フルーツサンドづくり）	11	小規模レク（モスバーガー外注、ドライブ広川銀杏並木）
6	誕生会（ウナギ外注）、小規模レク（ちらし寿司 セタ短冊作り）	12	誕生日外出、小規模レク（クリスマス忘年会、天ぷら実演、ケーキ手作り）
7	小規模レク（施設食事ウナギかば焼き、すいか割り）	1	小規模レク（新年会、おさしみ御前、福笑い）
8	小規模レク（屋台食手作り、夏祭りヨーヨー、綿あめ、くじびき）	2	小規模レク（買い物売店、フルーツサンド自分で作る）
9	小規模レク（パンバイキング、シチュー作り・おやつモンブラン）	3	小規模レク（花見弁当づくり）、花見（さくら）

※ 個別活動は随時実施

利用状況一覧表

年度	登録者数		男性		女性		平均介護度		通い(延べ回数)		宿泊(延べ回数)		訪問(延べ回数)	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
4月	19	23	6	7	13	14	1.9	1.8	318	345	139	71	271	323
5月	20	23	6	6	14	17	1.9	2	333	363	152	81	300	357
6月	22	25	6	7	16	18	1.8	2	348	359	147	95	311	377
7月	23	22	7	5	16	17	1.8	2	397	365	156	109	321	383
8月	21	22	7	5	14	17	2.1	2	348	349	147	107	311	394
9月	20	22	6	5	14	17	2	2	361	354	119	117	245	428
10月	22	23	7	5	15	18	2	2.1	390	406	103	158	310	364
11月	23	23	7	5	16	18	2	2.1	380	404	111	157	251	338
12月	22	21	7	3	15	18	2.2	2.1	393	391	127	164	283	336
1月	22	21	7	3	15	18	2.2	2.2	351	344	121	169	272	332
2月	22	20	7	3	15	17	2.1	2.1	342	337	123	164	177	300
3月	23	18	7	3	16	15	2.2	2.2	365	333	136	144	212	297
平均値	21.6	21.9	6.7	4.8	14.9	17.0	2.0	2.1	360.5	362.5	131.8	128.0	272.0	352.4



特別養護老人ホーム共生の里荒木 事業報告書

1 総括

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染症予防対策に邁進した年度となりました。職員の罹患が発生したことにより、ご利用者が1名罹患してしまいましたが、完治し再度施設で生活を送られています。施設の感染予防対策が功を奏し、以降はご利用者に感染者は出ておりません。引き続き、感染予防対策を実施しながら、ウィズコロナへ向けた取り組みの実施を検討しています。

ご家族の面会制限や外出レク等の自粛を行ってきました。ご家族にはその代替として、ビデオ通話や各ご利用者の写真をまとめて、生活の様子をお伝えする対応を行い、とても好評を頂いております。また、施設の中でも楽しんで頂ける行事や取り組みを行い、予防対策を行った上で少人数でのドライブを実施し、気分転換や季節の移り変わりを感じて頂けたかと思えます。

地域との交流についても令和3年度は殆どの行事が中止となりましたが、地域包括支援センターや周辺介護保険事業所と連携を取り、地域住民に向けて発行する介護予防通信を作成し、また、地域くらしの「何でも相談センター共生の里」をオープンさせ社会貢献活動を行いました。

2 活動実績

【特養】つばき/けやき/あじさいユニット共通

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と日々刷新される情報を職員間で把握共有できるよう働きかけました。

新型コロナウイルス感染拡大による、福岡県蔓延防止宣言に伴いご利用者の外出や外食ができなかったため、少人数制でのドライブや施設の設えで季節を感じて頂きながらご利用者が気分転換を行えるよう支援しました。また、中庭の花壇にご利用者と花植えをして四季を感じて頂きました。

外国人実習生への教育指導は、予定されていた時期での受け入れが新型コロナウイルス感染拡大により延期され少しずつではありますが、生活や介護等に対する認識のすり合わせを行っています。

【看護】

新型コロナウイルス感染対策2年目となる本年度は、国から配布された抗原簡易キットを有効に活用し、ご利用者・職員合わせて年間28件の検査を行いました。そのうちご利用者1名の陽性者が判明し、罹患者の早期発見、クラスター防止に努めました。また、面会制限がある中でも、看取りケア中のご利用者に関してはできる限り安全にその方らしい最期を過ごしていただけるように、ご家族の面会時にはその時々々の感染状況と照らし合わせながら、対策を講じました。

今年度の入院日数162日間の病名の内訳として、入院日数の多い順に、大腿骨転子部骨折、誤嚥性肺炎、急性腎不全、新型コロナウイルス感染症でした。

骨折されたご利用者の入院期間（70日間）の影響もあり、残念ながら全体の入院日数が昨年と比べ増えました。しかし、体調の変化等による医療機関への受診については、甘酒提供開始前の平成31年度の受診件数68件から本年度は46件と減少しており、発熱や慢性疾患の悪化などのトラブルが少なかったと思われます。

3 通院、更新、入院状況

(1) 特養

	R2年度	R3年度
囑託医往診	97回	98回
その他往診	19件	14件
受診	51件	46件
救急搬送	1件	4件
入院件数（日数）	3件（67日）	6件（162日）

(2) ショートステイ

	R2年度	R3年度
往診	26件	10件
受診	20件	25件
救急搬送	3件	4件

4 年間行事報告

月	内 容
5 月	コロナワクチン接種(1 回目)
6 月	ストレスチェック コロナワクチン接種(2 回目)
7 月	職員健診
10 月	インフルエンザ予防接種 (利用者) 入居者健診(市のがん検診含む)
11 月	インフルエンザ予防接種 (職員)
1 月	職員健診 (夜勤従事者)
2 月	コロナワクチン接種(3 回目)

※随時、入職時の職員健診、特養入居時の健診・肺炎球菌ワクチン接種
(希望者)

あじさい行事報告

月 日	行 事 内 容	場 所	参 加 者
4月4日	花見外出	鶯塚公園	5名
4月9日	ユニットレク(バーベキュー)	施設内	9名
4月30日	誕生日お祝い	施設内	1名
5月5日	ドライブ	八女中央大茶園	5名
5月13日	誕生日お祝い	施設内	1名
5月19日	誕生日お祝い	施設内	1名
5月29日	居酒屋でお食事	施設内	1名
6月17、18日	ビューティーヘルパー	施設内	9名
6月19日	自宅外出	自宅	1名
7月16日	ビューティーヘルパー	施設内	2名
7月17日	夏祭り	施設内	9名
8月1日	誕生日お祝い	施設内	1名
8月2日	スイカ割り	施設内	3名
8月10日	自宅外出	自宅	1名
9月14日	ユニットレク(うなぎ喫食)	施設内	9名
9月21日	敬老お祝い	施設内	9名
10月17日	誕生日お祝い	施設内	1名
10月27日	さんま焼き見学	施設内	6名
10月6日	誕生日お祝い	施設内	1名
11月16日	紅葉ドライブ	成田山	3名
11月17日	紅葉ドライブ	高良山	3名
11月17日	ビューティーヘルパー	施設内	4名
12月5日	ユニットレク(ピザ作り)	施設内	9名
12月17日、19日	ビューティーヘルパー	施設内	8名
12月24日	クリスマス	施設内	8名
1月1日	お屠蘇会	施設内	8名
1月25日	玄関設え制作	施設内	2名
2月2日	節分・豆まき	施設内	9名
2月8日	花活け	施設内	2名
2月8、17日	誕生日お祝い	施設内	2名
2月26日	ユニットレク(お寿司喫食)	施設内	9名
3月20日	ビューティーヘルパー	施設内	5名
3月25日	お花見ドライブ	小頭町公園	9名

けやき行事報告

月 日	行 事 内 容	場 所	参 加 者
4月4日	おやつレク	施設内	6名
4月13日	食事レク (室内BBQ)	施設内	10名
5月16日	すいか割り	施設内	4名
5月17日	ハンバーグ作り	施設内	10名
5月22日	ワクチン接種1回目	施設内	10名
5月26日	ケアビクス	施設内	7名
6月	ワクチン接種2回目	施設内	10名
6月29日	クリームソーダ作り	施設内	10名
随時	トマト・キュウリ収穫	2階テラス畑	10名
7月4日	スイカ割り	施設内	6名
7月25日	スイカ割り	施設内	4名
7月28日	土曜の丑の日・鰻喫食	施設内	10名
随時	ゴーヤ調理	施設内	
8月	コロナ感染対策の為中止		
9月20日	敬老の日	施設内	10名
9月26日	食事レク	施設内	10名
10月3日	ジャガイモ植え	施設内	7名
10月18日	秋祭り	施設内	9名
10月28日	炭焼きさんま喫食	施設内	10名
	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
11月14日	イチョウ見学ドライブ		7名
11月21日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
12月16日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
12月21日	忘年会 (すき焼き)	施設内	10名
12月25日	クリスマス会	施設内	10名
1月1日	お屠蘇会	施設内	10名
1月7日	七草がゆ	施設内	10名
1月9日	食事レク (豚汁作り)	施設内	10名
1月16日	おやつレク (和菓子)	施設内	10名
2月3日	節分・豆まき	施設内	10名
3月12日	おやつレク (桜餅)	施設内	10名

つばき行事報告

月 日	行 事 内 容	場 所	参 加 者
4月4日	おやつレク	施設内	6名
4月13日	食事レク (室内BBQ)	施設内	10名
5月16日	すいか割り	施設内	4名
5月17日	ハンバーグ作り	施設内	10名
5月22日	ワクチン接種1回目	施設内	10名
5月26日	ケアビクス	施設内	5名
6月	ワクチン接種2回目	施設内	10名
6月29日	クリームソーダ作り	施設内	10名
随時	トマト・キュウリ収穫	2階テラス畑	10名
7月4日	スイカ割り	施設内	3名
7月25日	スイカ割り	施設内	3名
7月28日	土曜の丑の日・鰻喫食	施設内	10名
随時	ゴーヤ調理	施設内	
8月	コロナ感染対策の為中止		
9月20日	敬老の日	施設内	10名
9月26日	食事レク	施設内	10名
10月3日	ジャガイモ植え	施設内	7名
10月18日	秋祭り	施設内	6名
10月28日	炭焼きさんま喫食	施設内	10名
	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
11月11日	ドライブ	富松うなぎ黒田	1名
11月14日	イチョウ見学ドライブ		6名
11月21日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
12月16日	ビューティーヘルパー	施設内	希望者
12月21日	忘年会 (すき焼き)	施設内	10名
12月25日	クリスマス会	施設内	10名
1月1日	お屠蘇会	施設内	10名
1月7日	七草がゆ	施設内	9名
1月9日	食事レク (豚汁作り)	施設内	9名
1月16日	おやつレク (和菓子)	施設内	9名
2月3日	節分・豆まき	施設内	9名
3月12日	おやつレク (桜餅)	施設内	9名

特別養護老人ホーム 共生の里荒木添付資料(R3年度)

性別・年齢別状況(3月31日現在)

介護度		人数	平均介護度
要介護	1	0	3.62
要介護	2	0	
要介護	3	15	
要介護	4	10	
要介護	5	4	
合計		29	

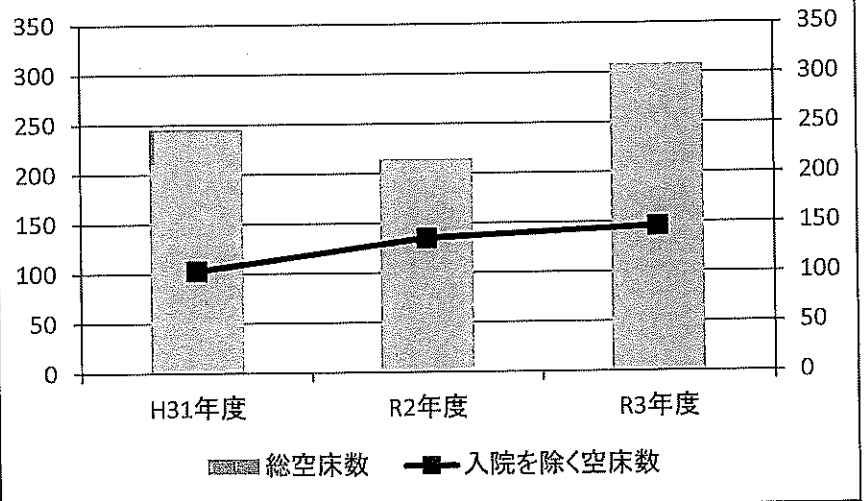
年齢	70歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	合計
性別	84歳	89歳	94歳	99歳		
女	4	5	6	5	2	22
男	2	3	1		1	7
合計	6	8	7	5	3	29

最高年齢	102	平均年齢	89.6
------	-----	------	------

入居状況(R3.4.1～R4.3.31)

月	入居者数	入居者延人数	稼働率
4月	29	856	98.4%
5月	29	868	96.6%
6月	29	840	96.6%
7月	29	865	96.2%
8月	29	882	98.1%
9月	29	869	99.9%
10月	29	899	100.0%
11月	27	851	97.8%
12月	29	860	95.7%
1月	29	864	96.1%
2月	28	784	96.6%
3月	28	839	93.3%
合計		10,277	10585
平均稼働率			97.1%

空床状況(H31年度～R3年度)



	H31年度	R2年度	R3年度
総空床数	245	214	308
入院を除く空床数	103	135	146

入退居状況(R3.4.1～R4.3.31)

月	入居者	退居者	退居理由		
			帰宅	死亡	その他
4月	1	1	0	1	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	2	0	2	0
12月	2	1	0	1	0
1月	1	2	0	2	0
2月	1	0	0	0	0
3月	1	1	0	1	0
合計	6	7	0	7	0

入居者平均在籍期間(3月31日時点)

令和2年度	令和3年度
33.1ヶ月	31.7ヶ月

令和3年度 ショートステイサービス共生の里荒木 事業報告

1 総括

令和3年度は一日でも長く在宅での生活を継続できるよう、ご家族、他事業所と連携を図り、ご自宅とショートステイでの生活が連続したものとなるように努めました。

また、長期ショートステイご利用者を特養の入居に繋げる事で、円滑でスピーディな特養入居にすることができました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策によるショートステイ受入れ制限や施設職員、ご利用者の感染者発生等による利用キャンセルがありました。新規利用者16名を獲得する事ができました。令和3年度は、長期ショートステイから特養への入居や入院等でのご利用者の入れ替わりが多く、長期ショートステイ利用者の獲得に時間を要しました。

令和4年度も引き続き、稼働率を確保しながら新規利用者を獲得し、リピーターの確保や長期ショートステイの利用に繋げていけるように努めます。

2 活動実績

(1) ご利用者・ご家族にとって不安・心配のない生活

新規のショートステイのご利用者も不安なく生活していただけるよう、ご利用前にご本人やご家族にしっかりと聞き取りを行い、アセスメントを実施する事ができました。また、感染症対策による面会制限、外出制限等を行う中でも窓越し面会や可能な限りの外出や散歩等を実施することにより、ご利用者の不安やストレスの軽減に努めました。毎月、ご家族には写真付きの手紙を送付する事で、会えない事の不安を少しでも払拭する事ができ、信頼関係の構築を図れました。

(2) 顧客の確保・職員のレベルアップ

緊急のショートステイ依頼や重度のご利用者を可能な限り受け入れる事で、ご家族のレスパイト等に対応することができ、新規の顧客確保に繋がりました。また、身体重度の方及び、認知症で周辺症状がある方の受け入れやショートステイでの看取りを行うことで、職員のスキルアップやマナーの向上を図ることができました。この他、ご利用者の状態変化やご家族の意向に沿うことで、共生の里事業所（小規模多機能事業、居宅介護支援事業所等）のサービス利用に繋げ、施設の収益アップも図れました。

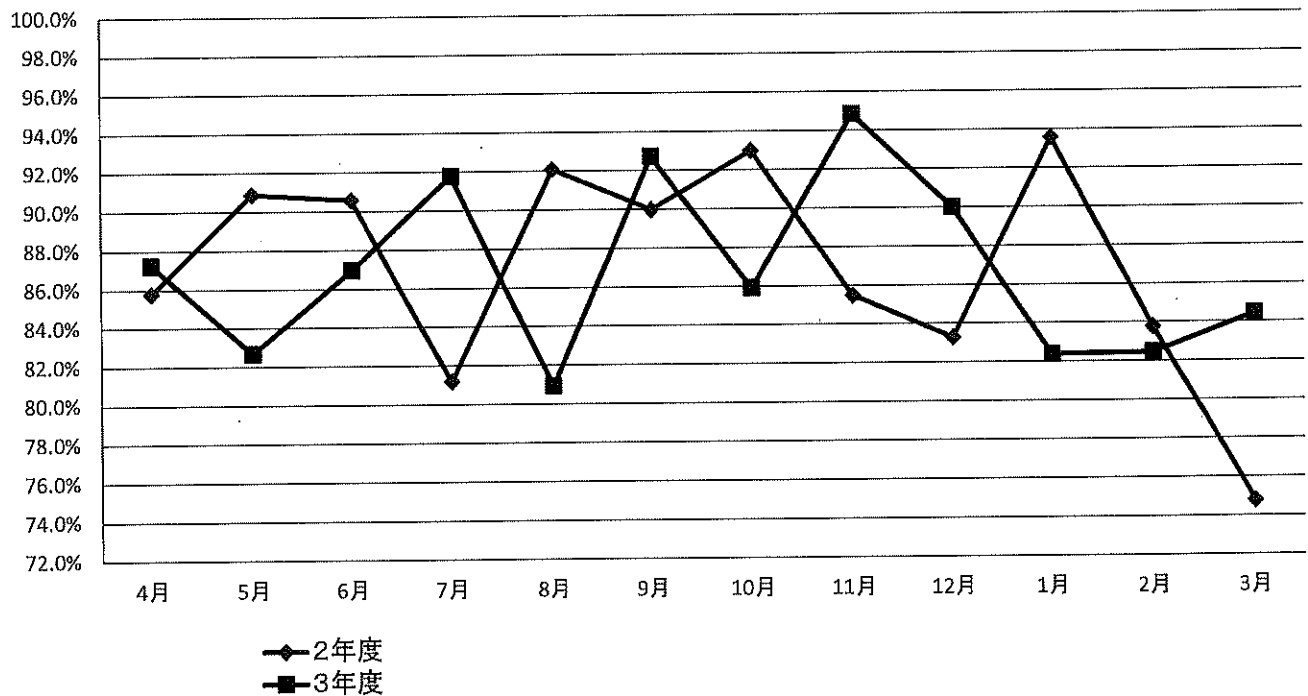
令和3年度 はぜユニット行事報告

月 日	行事内容	場 所	参加者
4月4日	花見ドライブ	鷺塚公園	2名
4月28日	バーベキュー	施設内	9名
5月5日	ドライブ	八女中央大茶園	6名
5月28, 29日	体操・合唱	施設内	6名
6月6, 22, 24日	体操	施設内	11名
7月17日	夏祭り	施設内	6名
8月2日	スイカ割り	施設内	3名
9月14日	鰻セイロ蒸し	施設内	9名
9月21日	敬老会	施設内	10名
10月27日	サンマの炭火焼	施設内	10名
11月16, 17, 18日	成田山、高良山ドライブ	成田山・高良山	3名
12月5日	ピッツア作り	施設内	3名
1月1日	お屠蘇	施設内	9名
1月25日	生花	施設内	3名
1月27日	誕生日会	施設内	11名
2月2日	節分	施設内	9名
2月8日	生花	施設内	2名
2月15日	誕生日会	施設内	10名
2月26日	お寿司	施設内	9名
3月25日	花見ドライブ	小頭町公園	7名

月別利用者数一覧表

	男		女		実利用者数			延利用者数			月間稼働率(%)	
	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	増減	2年度	3年度	増減	2年度	3年度
4月	5	5	11	13	16	18	2	283	288	5	85.8%	87.3%
5月	4	4	6	12	10	16	6	310	282	-28	90.9%	82.7%
6月	5	4	9	11	14	15	1	299	287	-12	90.6%	87.0%
7月	8	5	9	13	17	18	1	277	313	36	81.2%	91.8%
8月	8	4	9	14	17	18	1	314	276	-38	92.1%	80.9%
9月	8	4	11	11	19	15	-4	297	306	9	90.0%	92.7%
10月	9	4	9	14	18	18	0	317	293	-24	93.0%	85.9%
11月	7	3	11	14	18	17	-1	282	313	31	85.5%	94.9%
12月	8	6	11	14	19	20	1	284	307	23	83.3%	90.0%
1月	9	3	10	14	19	17	-2	319	281	-38	93.6%	82.4%
2月	7	3	11	13	18	16	-2	258	254	-4	83.8%	82.5%
3月	4	2	11	14	15	16	1	255	288	33	74.8%	84.5%
合計	82	47	118	157	200	204	4	3,495	3,488	-7		
年間平均稼働率											87.03%	86.9%

年度別利用率の推移



年間介護度別一覧表

介護度	介1		介2		介3		介4		介5		支1		支2	
	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度
4月	0	2	3	4	9	8	3	2	1	1	0	0	0	1
5月	0	0	0	4	7	7	3	3	0	1	0	0	0	1
6月	0	0	4	3	7	8	3	2	0	1	0	0	0	1
7月	0	0	5	5	9	8	2	2	1	2	0	0	0	1
8月	1	2	4	4	9	9	2	2	1	1	0	0	0	0
9月	3	0	4	3	9	8	2	2	1	1	0	0	0	1
10月	3	1	4	3	8	10	2	2	1	1	0	0	0	1
11月	3	1	3	2	8	10	3	2	1	1	0	0	0	1
12月	2	0	4	4	9	9	2	3	1	2	0	1	1	1
1月	1	1	4	4	11	7	1	3	1	1	0	0	1	1
2月	2	2	5	3	7	6	3	3	1	1	0	0	0	1
3月	2	3	3	3	7	5	2	3	1	1	0	0	0	1

デイサービスセンター共生の里荒木 事業報告

1 総括

令和3年度は、科学的介護推進のための「LIFE」の導入や新たな加算に向けて取り組みを行いました。利用実績については、利用者数が月平均23名と前年度より3.6名減少となり、新型コロナウイルス感染の影響でデイ利用を休まれる方や入院、施設への入居等が重なり大幅に実績が下がり厳しい年となりました。新型コロナウイルス感染症への不安がご利用者、ご家族はもとより職員間も不安が増え、どうしたら安心してデイサービス運営ができるのかを日々考えながらサービスの提供に努めました。レクリエーションにおいても、コロナ禍でも安心して、楽しく参加してもらうため、換気を十分におこない、マスク使用の協力をお願いし、また、レクリエーション担当職員は、大きな声を出さないよう携帯のマイク、スピーカーを使用し、予防に努めながら実施しました。

デイサービスの利用体験のご利用者には、「ここのデイサービスを利用したい」と選んでいただけるように、体験利用での個別的な対応や利用者同士の人間関係に配慮したきめ細かなサービスを実施しました。

2 活動実績

(1) 個別機能訓練の見直し

介護の科学的介護データ「LIFE」導入に伴い、利用者個々のアセスメントを見直すことで、「できること」「できていないこと」を再確認し、個別機能訓練に活かす事ができました。また、個別のストレッチを希望される方が多くなったため、必要性や時間・曜日の配分をリハビリ会議で話し合い実施の方向性を決める事ができました。

(2) 介護報酬改定に向けての取り組み

「LIFE」との連携を考え、個人記録の見直しを実施しました。それまでは手書きでの記録をしていましたが、パソコンでの入力に切替え、作業の効率化を図りました。加算についての内容を理解するため、勉強会や研修にも参加しましたが、まだ、必要な加算を取得できない状況です。

(3) 相談・介護業務・接遇の向上

レクリエーションに関しては、コロナ禍で制限がある中、何が出来るのかを考え実施しました。新型コロナウイルス感染の発生率が低い時期には、今まで行ったことのないイチョウ見物に行きました。車内での見物になりましたが、ご利用者からは大変喜ばれました。入浴では風呂の日に全国温泉巡りと題して、入浴剤を用いて有名な温泉巡りを実施しました。

(4) 稼働率の向上

前年度に比べご利用者の施設入所や入院等で利用者数が減り、加えて新型コロナウイルス感染症への不安から利用を控える方もおり、新規利用への獲得にも苦戦しました。営業活動としては、居宅介護支援事業所へ電話での営業や、実績配布時の空き曜日の情報伝達を実施しました。体験利用時の工夫をした甲斐があって、徐々に体験利用者も増え、サービスの利用に繋がっています。

(5) 健康な在宅生活維持への取り組み

体調不良時や気になる症状がある方へは、早めの受診を勧めました。しかし、ご本人の気持ちやご家族の気持ちが同じではない事もあり、症状が悪化してからの受診となるケースもあり、健康状態の変化に対する説明や受診の必要性をわかりやすく伝える事の重要性を改めて感じました。

3 年間活動報告

4月	・15日 食事レク（春野菜の天ぷら） ・26日 風呂の日（バラの香り湯） ・28日 おやつレク（ミニパフェ）	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
5月	・18日 食事レク（BBQ） ・27日 風呂の日（ラベンダーの湯） ・28日 おやつレク（クレープ）	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
6月	・19日 食事レク（だんご汁） ・26日 風呂の日（お茶風呂） ・28日 おやつレク（おやつバイキング）	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
7月	・19日 食事レク（唐揚げ・豚汁） ・26日 風呂の日（檜風呂） ・28日 おやつレク（フルーツポンチ）	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
8月	・18日 食事レク（うどん） ・12日 風呂の日（シトラス風呂） ・27日 おやつレク（かき氷）	当日利用者全員 入浴利用者 当日利用者全員
9月	・10日 食事レク（お好み焼き） ・13日～18日 紙芝居レク ・18日 おやつレク（さつまいもの茶巾絞り） ・25日 風呂の日（リンゴ風呂）	当日利用者全員 当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・16日 おやつレク (パイ) ・19日 食事レク (セレクト丼ぶり) ・26日 風呂の日 (別府温泉の湯) ・31日 ハロウィン仮装 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・11日～19日 イチョウドライブ (広川) ・18日 食事レク (シチューとハンバーグ) ・22日 おやつレク (クッキー) ・26日 風呂の日 (草津温泉の湯) 	希望者 当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・15日 おやつレク (餃子の皮でピザ作り) ・18日 食事レク (豚汁とホイル焼き) ・24日 食事レク (クリスマスオードブル) ・25日 風呂の日 (登別温泉の湯) 	当日利用者全員 当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
4年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・10～15日 おみくじ運試し ・17日 食事レク (新年会・陶板焼き) ・25日 おやつレク (肉まん・あんまん) ・26日 風呂の日 (有馬温泉の湯) 	曜日にて振り分け 当日利用者全員 当日利用者全員 当日利用者全員
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・3日 豆まき ・24日 おやつレク (パンケーキ) ・26日 風呂の日 (蔵王の湯) 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・12日 おやつレク (和菓子3種盛り) ・23日 食事レク (ちらし寿司と天ぷら) ・26日 風呂の日 (箱根温泉の湯) 	当日利用者全員 当日利用者全員 入浴利用者

(表1) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 定員35名

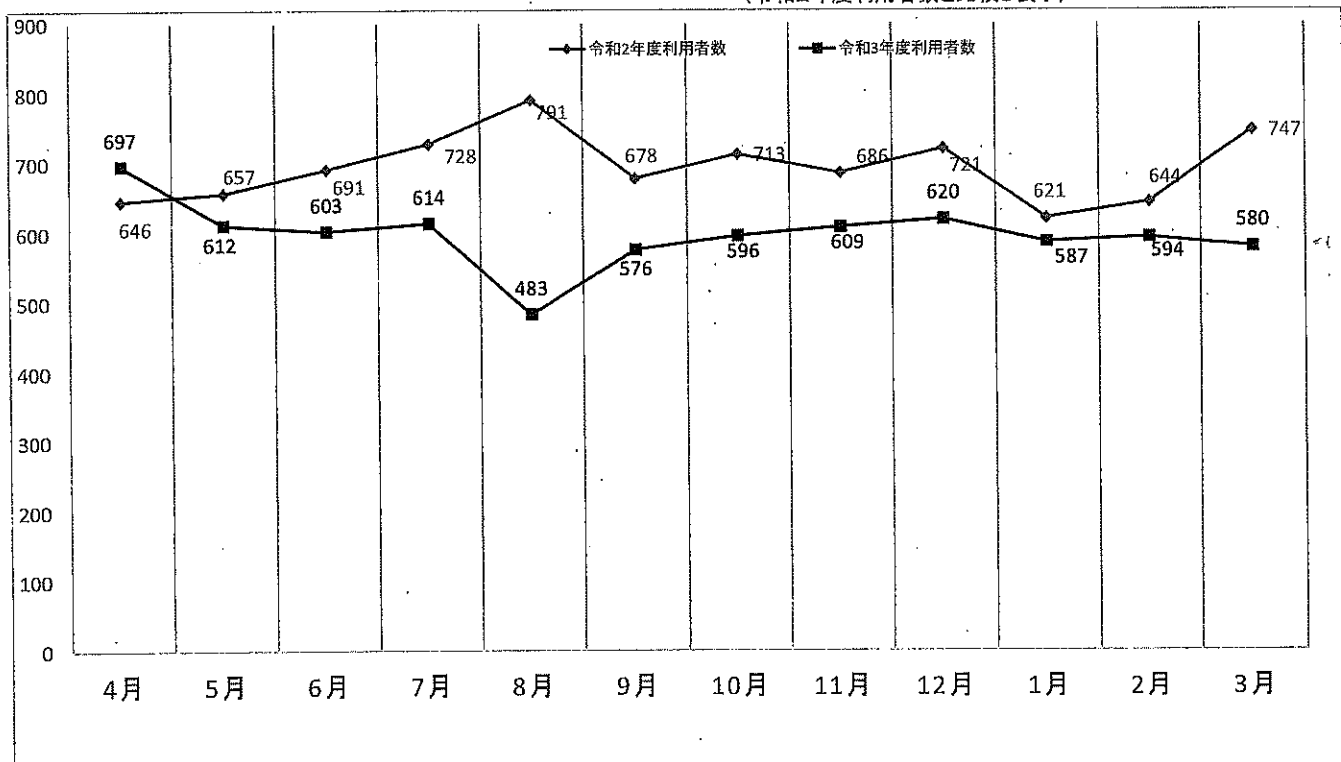
年月	営業日数	介護(人)	予防(人)	合計利用者数(人)	一日平均数(人)	稼働率100%の場合(人)	月間稼働率
令和3.4	26	539	158	697	26.8	910	76.6%
5	26	470	142	612	23.5	910	67.3%
6	26	459	144	603	23.2	910	66.3%
7	27	460	154	614	22.7	945	65.0%
8	24	365	118	483	20.1	840	57.5%
9	26	432	144	576	22.2	910	63.3%
10	26	453	143	596	22.9	910	65.5%
11	26	455	154	609	23.4	910	66.9%
12	26	459	161	620	23.8	910	68.1%
令和4.1	25	443	144	587	23.5	875	67.1%
2	24	453	141	594	24.8	840	70.7%
3	24	453	127	580	24.2	840	69.0%
合計	306	5441	1730	7171	281.1	10710	803.3%
平均	25.5	453.4	144.2	597.6	23.4	892.50	66.9%

(表2) 前年対比

年度	営業日数	介護(人)	予防・事業対象者(人)	年間合計	1日平均数	1ヵ月平均数	月間稼働率
令和2年	308	6565	1758	8323	27.0人	693.6人	77.20%
令和3年	306	5441	1730	7171	23.4人	597.6人	66.90%
前年比増減	2減	1124減	28減	1152減	3.6人減	96人減	10.3%減

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで利用者数推移

(令和2年度利用者数と比較し表示)



小規模多機能型居宅介護事業所 共生の里荒木事業報告

1 総括

令和3年度もコロナ禍ではありましたが、安定した登録と収益の確保のため、他事業所との連携と営業活動の取り組みや介護度の見直しで、前年度を上回る月平均21名の登録者を確保し、収益も月平均500万円を上回りました。

職員に関しては、退職や異動にて介護職員が減少となり変則勤務内で対応しました。

地域密着型サービスとして高齢者の方が住み慣れた地域で可能な限り生活できるように、支援方法や相談内容に対して真摯に取り組むことが出来ましたが、コロナ禍で地域行事に参加できる機会が少なかったため、地域との交流がありませんでした。

国の地域ケアシステムの考え方や地域高齢者の医療ニーズの状況を鑑み、現在の小規模多機能型居宅介護事業所の事業を1月で終了し、訪問看護サービスのできる看護小規模多機能居宅介護事業所を2月から開始しました。

2 活動実績

(1) 地域との共存・共生

コロナ禍の状況で地域行事参加の目標は実現できませんでしたが、地域住民の家族から相談を受け、登録外の方ではありましたが、本人と家族の支援を行いました。

他事業所から、家族の急な入院により、高齢者の方が一人になるため支援受け入れ先を探していると夜間に相談があり、緊急宿泊3泊4日の受け入れを行いました。

(2) 安定した利用

登録者平均22名をめざし、他事業所と連携し近隣の居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・病院等の地域連携室等に営業活動を行いました。登録者の方は、特養入所や入院はありましたが、登録者数19~23名と前年度を上回る平均21名の登録者となり、介護度の見直しも行き収益を安定させる結果になりました。

(3) 職員の確保・定着

会議や研修、面談により職員の意識改革に取り組みましたが、退職で介護職員が減少となりました。人員不足を補うために、勤務形態を工夫

し勤務時間を変更することで、ご利用者のサービスの質を落とすことなく支援することが出来ました。また、職員のコロナ禍のストレス緩和ケア活動として、職員食堂を開きジビエ料理を喫食する場を提供しました。

3 年間行事実績

今年度もご利用者の意向を聞き取りながら、コロナ禍で可能な行事を開催しました。

月	行事内容	月	行事内容
4月	茶畑・つつじ公園ドライブ	10月	さんま焼き コスモスドライブ
5月	運動会	11月	お風呂レク コスモスドライブ
6月	お誕生会	12月	クリスマス会 豚汁/しし汁
7月	納涼祭	1月	新年会
8月	お化け屋敷		
9月	敬老会(マツケン&合唱団)		

◇毎月の誕生会開催。

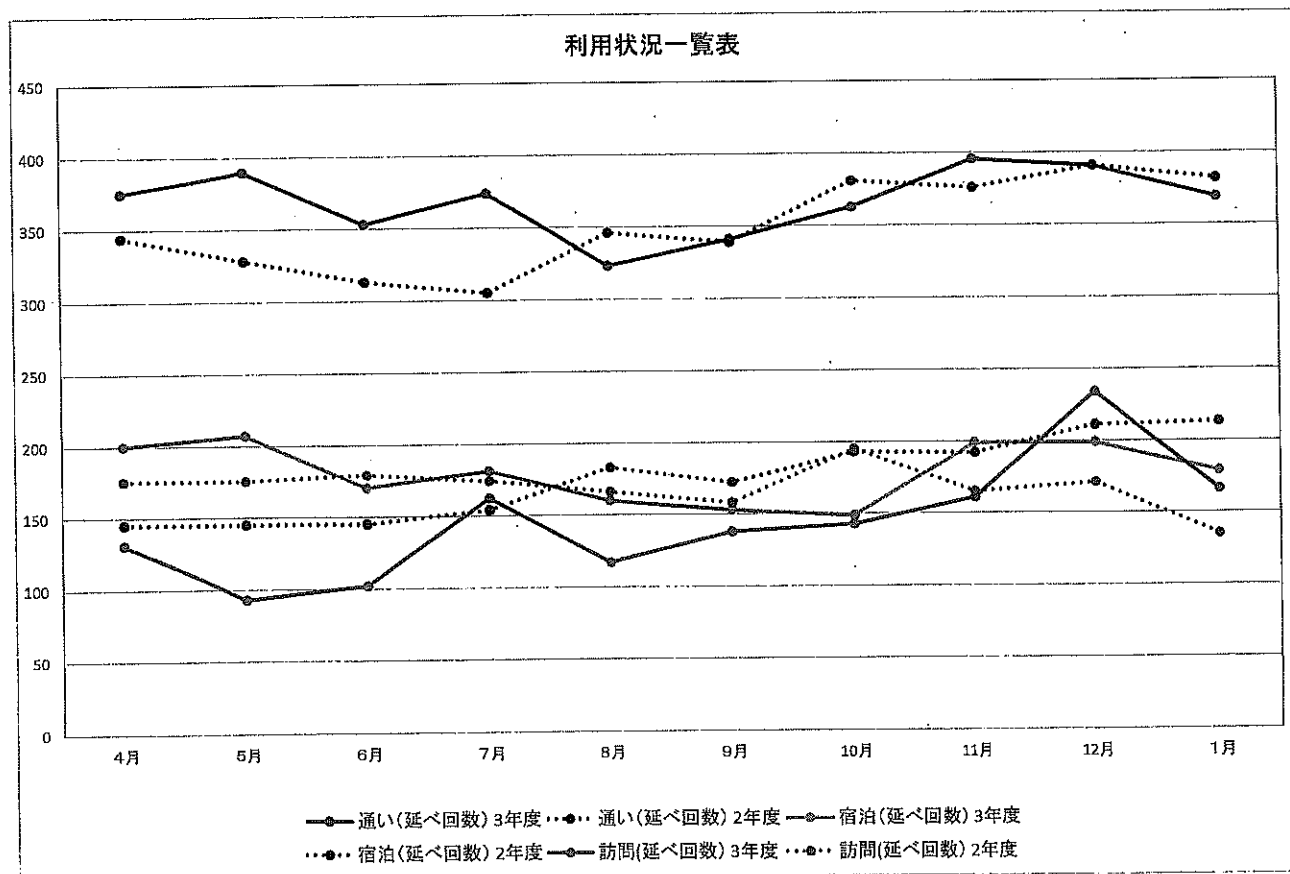
◇個別企画については上記以外でドライブやおやつ作り等実施。

◇運営推進会議開催。

利用状況一覧表

年度	登録者数		男性		女性		平均介護度		通い(延べ回数)		宿泊(延べ回数)		訪問(延べ回数)	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
4月	19	20	8	9	11	11	2.0	2.2	375	344	200	145	131	175
5月	20	20	6	9	14	11	1.9	2.2	390	328	207	145	93	175
6月	22	18	6	7	16	11	1.8	1.7	353	313	170	145	102	179
7月	22	18	6	7	16	11	1.8	2.1	374	305	181	154	162	174
8月	21	19	5	7	16	12	1.8	2.0	323	346	160	183	117	166
9月	21	19	5	7	16	12	1.7	1.8	341	339	153	172	138	158
10月	21	18	4	7	17	11	1.7	2.1	363	381	149	193	143	195
11月	23	19	4	7	19	12	2.1	2.2	396	376	199	192	161	165
12月	23	21	4	8	19	13	2.2	2.3	391	391	199	211	234	171
1月	21	19	4	8	17	11	2.1	2.2	369	382	179	213	166	135
平均値	21.3	19.1	5.2	7.6	16.1	11.5	1.9	2.1	367.5	350.5	179.7	175.3	144.7	169.3

※令和4年2月より、看護小規模多機能型事業所へ移行



訪問看護ステーション共生の里 事業報告

1 総括

令和2年5月、共生の里荒木に訪問看護ステーションを設置し事業を開始しましたが、訪問看護師の退職と管理者の体調不良により、人員配置に支障が出たため、12月に事業所の休止に踏み切りました。令和3年度は、再度、訪問看護ステーションの事業運営ができるように、新たな組織体制の構築と人員確保等の調整、そして、行政機関への再申請の手続きをおこないました。また、職員研修や勉強会を定期的を実施し、他訪問看護ステーションへの視察研修を行ない、事業所設置のための準備を進めました。令和3年11月に久留米市役所、その他、関係行政機関に申請書を提出し、令和4年2月1日に訪問看護ステーション共生の里の指定を受け、看護小規模多機能型事業所の連携型としての事業所をオープンしました。

2 活動実績

- (1) 訪問看護の実践力がある看護師の雇用をおこなうため、ハローワークや看護協会等の求人やポスティングによる広報等を行い訪問看護人員体制の確保を行いました。
- (2) コロナ禍にて直接営業に行く事は自粛しましたが、関係機関への広報活動を行いました。
- (3) 看護小規模多機能事業所との連携型として機能を持たせた、訪問看護ステーションの準備を行いました。
- (4) 訪問看護ステーション職員、看護小規模多機能事業者の職員と合同で内部研修会を3回おこないました。
- (5) 介護保険対象者、医療保険対象者の訪問看護を実施しました。

訪問看護実績(令和4年2月～3月)							
①介護保険給付	2月	3月	延べ合計	②医療保険給付	2月	3月	延べ合計
予防				後期高齢者		1	1
要介護		1	1				
要介護(公費)							
合計		1	1			1	1
(件)				(件)			

主な活動	NDソフト研修
	来年度事業計画作成
	営業活動(医療機関・居宅介護支援事業所)
	料金表の見直し
	毎月1回ミーティング
	パンフレット作成、修正
	コロナ感染症研修
	防護服着用研修
	重要事項説明書・契約書の見直し、修正

看護小規模多機能型居宅介護事業所 共生の里荒木事業報告

1 総括

令和4年2月1日より、小規模多機能型居宅介護事業所から看護小規模多機能型居宅介護事業所へ移行し、医療ニーズが高い利用者の対応や予防的な看護や介護により、健康管理の充実と介護予防等に力を入れています。移行して2か月経ちましたが、ご利用者、ご家族の生活に大きな変化はなく、看護体制が充実したことにより、健康面への変化を早く捉えることができ、ご利用者やご家族の暮らしの安心感に繋がっています。これから、終末期も含めた医療が必要な高齢者やそのご家族の在宅生活を支えるために、職員の意識向上と地域での私たち看護小規模多機能型居宅介護事業所の役割を明確にし、また、地域包括ケアシステムの実現のために、勉強会の実施、他事業所の視察研修等を取り入れながら日々、ご利用者の支援方法を模索しているところです。

2 活動実績

(1) 安定した利用

看護小規模多機能型居宅介護事業所へ変更するにあたり、要支援の高齢者の受け入れができなくなることから、デイサービス利用へ変更したり、津福小規模多機能型居宅介護事業所を紹介して、ご利用者のサービスが継続できるように調整しました。

(2) 職員の不安解消

職員の中には看護小規模多機能型居宅介護事業所へ変更するにあたり、自分たちの役割がどのように変わっていくのか不安の声が上がってきたので内部での勉強会を通して不安解消を図ってきました。今後も継続して研修を行っていきます。

(3) 営業

今までも居宅介護支援事業所を中心に施設内の他部署の職員と一緒に営業をおこなってきましたが、2月以降は病院の医療連携室や老人保健施設への営業を増やし、病院や施設を退院され、在宅復帰を考えているご利用者の獲得も含め、広い範囲での営業に力を入れました。

3 年間行事実績

今年度もご利用者の意向を聞き取りながら、コロナ禍で可能な行事を開催しました。

月	行事内容
2月	豆まき
3月	桜の花見ドライブ

◇毎月の誕生会開催。

◇個別企画については上記以外でドライブやおやつ作り等実施。

◇運営推進会議開催。

利用状況一覧表

年度	登録者数		男性		女性		平均介護度		通い(延べ回数)		宿泊(延べ回数)		訪問(延べ回数)	
	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度
2月	20		4		16		2.1		338		174		144	
3月	20		4		16		2.1		375		173		173	
平均値	20.0		4.0		16.0		2.1		356.5		173.5		158.5	

利用状況一覧表

